

ずっと使える保存版 レポートのハテナを全部解決！

レポートの書き方が 楽しく学べる本

ここがポイント！

楽しく学べる
会話文形式を採用

テンプレがわかる
感想・書評レポート

すぐに使える
頻出テーマ概説

どこよりもわかる
参考文献の書き方



著：kirie

イラスト：もかたる子

レポートのハテナ

基本 感想 参考文献
準備 要約 テンプレ
書き方 書評 ウラワザ

→ 全部わかります

余・レ・4
裕・ポ・0
で・ー・0
書・ト・0
け・も・字
る の

レポートの
書き方が
楽しく学べる本

著：きりえ イラスト：もかたる子

目次

はじめに

第1章：ゆるっと解説！ アカデミックライティング

第2章：情報収集と資料の読み方

2.1：情報収集の方法

2.2：資料の読み方

第3章：レポートの書き方

3.1：感想型のレポートの書き方

3.2：テーマ設定、情報収集をするレポートの書き方

3.3：書評レポートの書き方

3.4：抽象的、難しい、長文のレポートの書き方

第4章：徹底研究！ 頻出テーマ

4.1：グローバル化・多文化共生

4.2：ジェンダー

4.3：セクシュアリティ・性の多様性

4.4：労働

4.5：教育

4.6：日本文化

第5章：参考文献と引用

5.1：参考文献の書き方

5.2：英語・ヨーロッパ系言語の参考文献の書き方

5.3：脚注の書き方

5.4：参考文献を早く書く方法

5.5：引用の方法

第6章：レポートで気になるあれこれ

6.1：レポートのフォーマット、表紙

6.2：書き言葉の表記

6.3：人物名の表記

6.4：数字と記号の表記

6.5：番号の振り方

6.6：レポートを早く書くためのショートカットキー

おわりに



～ユズ～



～ナギ～

◎はじめに

この本は大学生のレポートについて 200 ページ以上にわたって基本をつめこんだ電子書籍です。大学生、特に学部生の初期にぶつかるレポートのはてなには一通り答えられる内容になっています。本書を活用しながら、レポートの基礎を楽しく学んでいただきたいです。

はじめにお断りですが、私はレポート指導を専門に行っているわけではありません。この本を見てくださっている多くの方と同じように大学でレポートの書き方を学び、実践してきた普通の人です。ですので、有識者からすると「何を言っているんだ」と思われる部分もあるかと思えます。しかし、その分実際に苦勞をしながらレポートを書く大学生の立場によりそって、「これが知りたかった」と思える情報を詰め込んだつもりです。

本書の特徴としてオリジナルキャラクターのユズ&ナギの力を借りつつ、楽しくレポートの基礎が学べるように工夫しました。これから必要になるレポートの基礎知識を楽しく、挫折しないで学んでほしいと思い「流れるように読める」を目指して作りました。本書が少しでもみなさんのレポート学習の支えになれば幸いです。

きりえ

第1章

ゆるっと解説 アカデミックライティング



CONTENTS---

・ アカデミックライティング



大学の課題でレポートが出題されたよ
何をしたらいいんだろう？



期末と言えばレポート。こうやって何人もの学生が徹夜でレポート
を書いて夏休みや春休みを迎えるんだよね～



ちょっと、話聞いているの？
レポート出されたけど何をしたらいいかわからないんだよ……



ごめんごめん。まずは「レポートとは何か」から入った方が良さ
そうだね！
アカデミックライティングって聞いたことあるかな？



あーなんか先生が言ってたような気がする



大学のレポートの基本はアカデミックライティング。これをもとに、
いわゆる学術的な文章を書くんだ

日本の大学教育ってなかなかいい加減なところが多いです。とりわけレポートに関しては大した指導をされることもなく、学期末にいきなり2000字や3000字のレポートを課すのです。

慣れてしまえば大したことはないのですが、初めのうちはこれだけの長文を書くのは大変です。そのうえ、レポートは単なる感想文や作文とは違います。学術的な作法にのっとって書かなければなりません。

まずはレポートの基本を理解すべく、アカデミックライティングについて学びましょう。この「アカデミックライティング」や「レポートの書き方」と題される資料、多くの大学が学生のために発行しているのですが、読んだことはあるでしょうか。

作った方には申し訳ないのですが、何というか、おもしろくないんですよ。それでいつも何となくレポートを書いて終わる。そんな方が多いのではないのでしょうか。そんなアカデミックライティングについて楽しく考えてみましょう。

◎この章で扱うこと：アカデミックライティング

1：なぜレポートを書くのか



「レポート」

高校生の時はまったく聞かなかったのに大学生になった途端に増えたなー



たしかに！ レポートっていわれると大学生らしいなーって思うかも！



今まではテストばかりだったでしょ？ どうしていきなりレポートを書かされるようになるの？ テストじゃだめなの？



それはきっと、大学は正解のない問題を考えるところだからだね！

大学の勉強って未知への挑戦なのです。

高校生までは教科書に書いてあることを習って、そのことをテストで覚えて……の繰り返しです。ところが大学はそうではありません。教科書にないことを探求したり、ひょっとしたら教科書に書いてあった「当たり前」が覆ったりすることもある。

では、「正解のないこと」ってテストできるのでしょうか。

きっとできないと思います。だから自分なりに「問い」や「答え」を設定して、1つの文章としてまとめ上げることを求められるのです。それを確認するためには……レポートしかないですよ。

2：アカデミックライティングの作法



「アカデミックライティング」とかって先生が言ってたなー
アカデミックにライティングをしないとイケないんだねー



棒読みくさいなー。でも言ってることは確かに正しいね
大学のレポートは基本的にすべて「アカデミックライティング」が
求められるんだ



アカデミックなライティングかー頭良さそうに書けてることが
よし、それじゃあ……



あああーストップ！ そんなに難しく考えないで！
アカデミックライティングって実はこれだけのことなんだ！

◎アカデミックライティングの作法

- ・わかりやすい文章であること
- ・客観的な文章であること
- ・感想文ではないこと



わかったようなわからないような……



まあ、これはおいおい解説するとして、先に進んでみよう

3：コピペ、ダメ、ゼツタイ。



……って先生が言っていました



もちろん。コピペって聞くと軽く考えがちだけど、学問の世界では剽窃（ひょうせつ）といって立派な犯罪行為なんだ

◎やってはいけないこと……剽窃

インターネット上の文書を含む、あらゆる文献を無断、引用などの表記なしにコピペすることを剽窃といいます。学問の世界の重大犯罪であり、絶対にしてはいけません。その授業の単位がなくなるのはもちろん、場合によってはその学期のすべての単位が無効になります。



コピペ禁止でしょ？

だったら自力ですべて書くのかー大変だな……



もちろん、レポートを「書く」ことは自力です

けど、アカデミックライティングはそれだけでは不十分なんだ
どうしてかわかるかな？



えーっと、どうして？

4：文献を参照する・引用をする



さっき話したアカデミックライティングの作法、

- ・わかりやすい文章であること
- ・客観的な文章であること
- ・感想文ではないこと

これに答えるには必ず「文献」が必要なんだ



もし、何も文献を使わずにレポートを書いたらどうなるの？



レポートにもよるけど、

「そのレポートに書いたことは全部あなたの想像ですか？」って言われるかもね笑



そうか。ただレポートを書いても、何も説得力のない机上の空論にしかならない、だから文献が必要なんだ



引用はコピペとは違う

「誰のどんな文献から抜き出しました」ってことを堂々と表記すれば立派なキミのレポートとして認められるよ！

◎アカデミックライティングで必要なこと

- ・文献を参照して書く
- ・引用をする場合は決まりにのっとって堂々と引用する

5：アカデミックな文章の特徴

アカデミックライティングの文章の特徴は次の通りです。

◎アカデミックライティングの文章の特徴

- ・「問い」と「答え」を書く
- ・根拠と論理的な説明をする
- ・序論・本論・結論の三段構造で書く
- ・パラグラフ構造で文章を書く
- ・おかたい文章で書く
- ・正しく文献や引用の表記をする



ざっと洗い出すとこんな感じ。レポートを書くときにこのポイントを意識してみよう



言われるのと実践するのは違うんです



あーすねないで！ もう少し詳しく説明するからー



ごめんどめん。でも、わかりやすく客観的、それでいて感想文ではない文章っていったらこんな特徴になるかも



ここからちょっと長くなるよ！ 頑張って！

5.1：「問い」と「答え」を書く



いきなり難しいことを要求してくるね……



でも、これがレポートを書くときに一番に考えることで、この部分をどうするかでレポートの方向性が決まるんだ



「問い」と「答え」か。でもそんなことレポートの指示に書いてないよ
ほら、これも「〇〇について論じなさい」って書いてある



それでも、アカデミックライティングでは「問い」と「答え」を設定するのが作法なんだ。まずは、指示を分解するところから考えてみよう

◎指示を分解する

「〇〇について論じなさい」と言われたらその指示を分解しましょう。
例えば、「日本の大学教育について述べなさい」と指示されたのであれば、

- ・日本の大学教育の問題点は何か
- ・高校とは違う大学教育の特徴は何か

このようにテーマを少し深掘りして読み替えます。これが「問い」です。

ここに自分なりの「答え」を付け足して、指示を整理してみましよう。
関係する文献を参照しながら、何なら実証できるかを考えます。卒業論文レベルになると「問い」と「答え」の設定はすべて自分で行うことになります。

5.2：根拠と論理的な説明を加える



「問い」と「答え」か

でも、それだけだとレポートが一瞬で終わっちゃうよね



その通り。単に「問い」と「答え」を書くだけでは100字で終わっちゃうよね。何より説得力が皆無



そっか、だから「根拠と論理的な説明を加える」必要があるんだね



そのとおり！ その根拠になるのが文献で、論理的な説明はパラグラフライティングで伝えるんだ



自分で「答え」を設定する、その「答え」のために文献を調査する大変そうだなあ



まあ、この段階で構成を考えながらまとめるからね
もう少しの辛抱！

◎根拠を探す・説明する

「問い」と「答え」を羅列するだけではレポートは一瞬で終わってしまい、説得力も皆無です。だから、その根拠となりうる文献を探します。

その根拠は書籍の中の記述、数値データ、実験、フィールドワークなど様々です。そこに論理的な説明を加えます。

5.3：序論・本論・結論の三段構造で書く



文献を集め終わって、「さあ書くぞ」じゃあどうせダメなんだよね



よくわかってるじゃない
まずはアウトラインを決めることがオススメ！
次のポイントを意識してみよう！

◎ポイント

- ・基本は序論→本論→結論の三段構造で組み立てる
- ・「問い」と「答え」を説明する根拠に使える文献、データ、資料を抽出する



ちょっと複雑になるので、地の文にお任せします

序論・本論・結論の三段構造はどのように書いたらよいのでしょうか。
具体的にそれぞれの書き方を考えてみましょう。

◎序論：「問い」と「答え」を書く→導入

序論では「このレポートで私は何をするのか」を書きます。

具体的には「問い」、「問い」の背景、「答え」を紹介します。日本語の構造的に「答え」は最後に持ってくるのが好まれますが、特別不自然にならない限りは冒頭で「答え」も書いてしまいましょう。

◎本論：なぜ「問い」が「答え」のようになるのかを示す→論証

本論では資料をもとにいえることを書き出し、考察を行います。この課程が論証にあたります。卒業論文など長い文章の場合はこの部分で論証で用いる資料の紹介、考察方法の説明も行います。

高度ですが、実は同じ「問い」と「答え」を提示して、同じ資料を与えれば、誰でもほとんど同じような文章が書けてしまうのです。この自然さのレベルが高ければ高いほど客観的な文章といえます。

◎結論：レポートの内容をすべて回収しながらまとめる→まとめ

結論、つまりは総まとめです。本論のことを簡潔にまとめ、再び自分の「答え」を提示すれば全体が締まります。レポートのレベルによっては調査の限界や今後の展望を書いてもよいでしょう。



……とまあこんな三段構造で書いていきますよ、と
何となく流れがわかったかな？



何となくわかったようなわかってないような……



そうだよ。まだ抽象的だと思う
次は実際にどんな感じの文章を書くかを考えてみよう

5.4：パラグラフ構造で文章を書く



いよいよ文章を書くのか。この書き方がなんともな……



パラグラフライティングって知ってるかな？
アカデミックライティングではこの書き方をします



パラグラフ、段落か。段落がどうして大切になるの？



ここでいうパラグラフは「意味の区切り目」と考えてみよう
具体的にはこんな特徴があります

◎パラグラフの特徴

- ・トピックセンテンスが含まれる
- ・見出しがつけられる
- ・トピックセンテンスに関連する情報が書かれる

パラグラフには、最初に「その段落でしたいこと、言いたいこと」が書かれます。また、段落ごとに「○○の説明」「○○の理由」といった見出しがつけられなければなりません。それをもとに、トピックセンテンスの主張を補強する情報が書かれます。



このパラグラフ、段落を組み合わせせて、最終的に一本のレポートになるんだ

5.5：おかたい文章で短く書く



「おかたい文章」とは次のような書き方である



え、ちょっといきなりどうしたの？



今までの私たちの会話のような書き方は不適切である
地の文のような「です・ます調」の書き方も不適切である



おかたいて、そういうこと？



では、疑問文はどのように書くのだろうか
今書いたようにこのように書くのである



ちょっと、何言ってるの。絶対その口調向いてないって！



また、一つの文章には一つの主張が入ることを意識する
まさに、今書いているとおりの方法である



……



特に論証部では「思う」「だろう」といった主観的な文章をなるべく
避けるとよいと思う



うん？ 言ってること矛盾してない？



……あ！

レポートの文体にはある程度慣れが必要です。以下のポイント意識的に使ってみましょう。

◎レポートに適した文章の書き方

- いわゆる「かたい」書き方をする
 - 「～である。」「～だろうか。」などをよく使う
 - 「～だ」は避けた方がよいとされることがある
- 一文一義（一つの文章に一つの主張や意見）を意識する
- 特に論証部を中心に「思う」「だろう」などの主観が混じりそうな表現は避ける

5.6：文献や引用を正しく表記する



いよいよ終わりに近づいてきた！

コピペは厳禁だけど、堂々と引用して、正しく文献情報を表記すればいいんだよね！



そのとおり！

むしろ、まったく文献がないのは場合によってははねられるかも



時間かかるけど、ちゃんと文献も書いて

……よしできあがり！



お疲れ様でした！

引用には引用のルールが、参考文献の表記にも決まりがあります。ちょっと長くなってしまいますので、第5章で参考文献と引用について解説します。

これでアカデミックライティングの「書く」に関する基本的な解説は終わりです。ここではアカデミックライティングについてとにかく親しみをもってもらい、わかりやすく伝えられるように心がけました。

この章のアカデミックライティングは何となく「こんな感じか〜」、「そこまで難しくなさそう」くらいに考えてもらえれば大丈夫です。

実際にアカデミックライティングにはこれ以外にもたくさんの要素やテクニックがあります。ここからの章で学んでいきましょう。

第2章

情報収集と 資料の読み方

CONTENTS---

- ・ 情報収集の方法
- ・ 資料の読み方



レポートを書くには文献が必要なんだね



そうそう。「問い」の発見や自分の意見のサポートに必要なんだ



そうか……図書館にでも行くかな～



もちろんそれでもいいんだけど、レポートを書くだけならもっと簡単に情報や文献が集まるかもしれないよ！



そうなの？ 本を探すのって時間がかかるから知りたい！

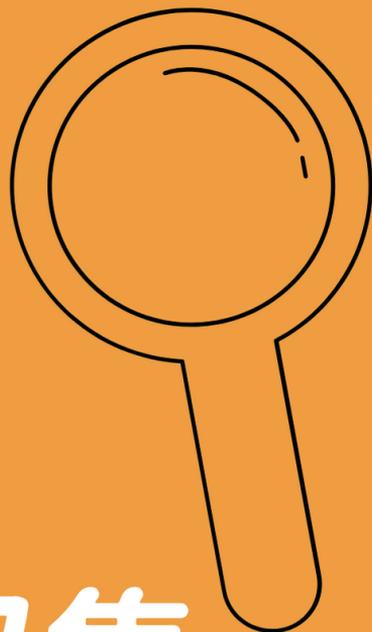
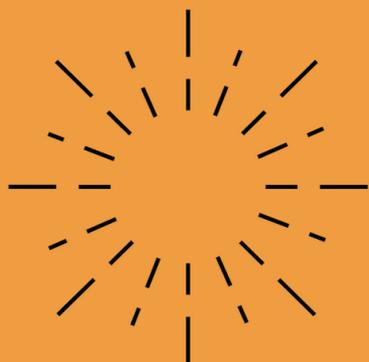


というわけで、情報の集め方と資料の読み方を考えてみよう。コツをつかむと短時間で大量の文献をあされるようになるよ！

第1章ではレポートを書くときには文献が必須とお伝えしました。図書館などに行くと本は手に入りますが、何かと時間がかかります。王道の文献はもちろん本なのでそれでもいいのですが、ほかにもっとよい方法はないでしょうか。レポートだけでなく、卒業論文では大量の資料を読むことになります。そのためにも効率良く情報を集め、読みこなせるスキルがあるといいですね。

◎この章で扱うこと：情報収集と資料の読み方

- ・情報収集の方法
- ・資料の読み方



1
情報収集
の方法

1：情報収集の方法

◎情報収集の方法とレポートに有効な方法を知ろう

レポートを書き始める前にまず必要なのが情報収集。本を読んで、論文を調べて、インターネットで検索して……。いろいろな手段がありますが、レポート作成で有効なものは何なのでしょう。

レポートを書くときにおすすめの情報収集手段は以下の通りです。
上からおすすめ順に並べています。

◎情報収集でおすすめの方法

1. インターネット上の PDF 論文
2. e-Stat（政府統計）
3. 公的機関のウェブサイト
4. CiNii（論文検索データベース）
5. 学術フェデレーション
6. 本・書籍
7. 学術雑誌
8. 新聞データベース
9. インターネット記事



こうやって並べると思った以上にたくさん手段があるね！



それぞれのツールの特徴や苦手なことは何か考えてみよう！

◎情報収集ツールの特徴を理解しよう

先ほど紹介した情報収集ツールの特徴を紹介します。それぞれの特性を活かしながら効率良くレポート執筆に必要な情報を集めましょう。

1.1：インターネット上の PDF 論文

一番おすすめなのはインターネット上の PDF 論文です。インターネット上にそのまま学术论文が載っていることがありますよね。だれでもアクセスできますし、Wikipedia などとは違って信頼性もあります。そのほかのオススメポイントは以下の通りです。

- Google などで検索をするだけで出てくることがある
- 多くの種類が出てくるわけではないので絞りやすい
- オンライン資料なので Ctrl+F の検索機能が使える

インターネット上の PDF 論文がおすすめできる最大の理由は単語検索ができることです。

◎単語検索

- Windows Ctrl + F
- Mac command + F

これを使うと文章の中の特定の単語を検索できます。重要な機能なのでぜひ覚えておきましょう。

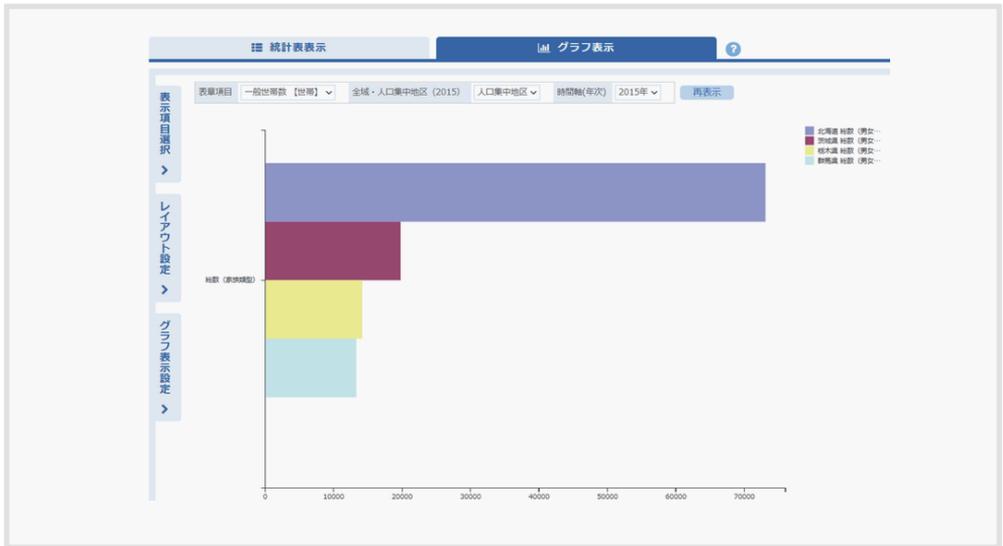


必要な情報にすぐアクセスできる単語検索！ 覚えておこう！

1.2：e-Stat（政府統計）

こちらは国勢調査をはじめ、政府主導で行ったすべての統計調査の結果を閲覧できるサイトです。レポートによっては何か数値として示されるデータが必要なことがあるかと思います。

そんなときは e-Stat から分野を絞り込んで検索すれば、要領よく資料を集められます。また、e-Stat の便利機能でグラフの自動作成があります。



このグラフはダウンロードもできるよ！



データ収集は e-Stat で決まりだね！

1.3：公的機関のウェブサイト

ネットの情報は使わない方がいい、とはいいますが、ポイントはそのサイトの信頼性によります。国勢調査やその他省庁などのデータであれば信頼性は十分にあるので、そのようなサイトから情報を探してくると効率がよいでしょう。

レポートが「文字数」ではなく枚数の指定であれば、表やグラフを作成すると見やすく、そして分量を稼げます。主にグラフを作成するときなど数値が必要なときの作業になりますが、公的機関の情報を探してみましよう。このときにも先ほど紹介した単語検索の機能を使うとピンポイントの情報を集められます。

1.4：CiNii（論文検索データベース）

大量の論文を検索したいときには CiNii をおすすめします。キーワード、人名などから検索できます。オンライン上でも閲覧できますが、紙媒体で読みたい場合は印刷も可能です。

手っ取り早くレポートを仕上げたいときには、PDF のまま単語検索をかけて探すのがおすすめです。



「CiNii」……なんて読むの？



「サイニー」だよ！ 覚えておこう！

1.5：学術認証フェデレーション

こちらは国内外の資料を無料で閲覧できるサイトです。大学が契約している場合に限り、学籍番号や ID などを入力して利用できます。

多くの場合は大学の図書館や公式 HP に大学専用の学術認証フェデレーションのリンクがあります。日本語、外国語ともに大量の資料を閲覧できるので、学部生のレポートをはじめ、卒業論文レベルでも十分通用します。

学術認証フェデレーションを上手に利用すれば、図書館に 1 回も行かずとも十分な資料で卒業論文を書けてしまうほどです。必要な資料を見つけるまでは時間がかかるかもしれませんが、ぜひ 1 度利用してみてください。



図書館に行けないときも家から資料が見つかる！



引きこもり論文も書けちゃうね……！

1.6：学術雑誌

論集をはじめ、研究者の報告文書を掲載しているのが学術雑誌です。大学の図書館などでは多くのバックナンバーが保存されているので、必要に応じて探してみましょう。

すべて学会などを通された論文なので、信頼性は抜群です。その反面、当然内容も高度なものを扱っていることが多いので、学部生レベルのレポートではややオーバーワークになるかもしれません。



卒論や大学院を見越して慣れておくのも◎

1.7：新聞データベース

新聞も重要な参考資料になります。多くの大学では各種新聞のデータベースを契約しているので、必要に応じて使いましょう。

新聞は客観的な事実に加えて筆者の主観が混じることがあるので、注意が必要です。その分、生の声がわかる、というメリットもあります。



戦前の日本や文化の調査では大活躍！



新聞も別途参考文献の表記方法があります。詳しくは第5章で！

1.8：本・書籍

参考文献の基本である本は、早くレポートを書く、という観点では今まで紹介したものよりやや劣ります。単語検索ができないので、必要な情報を見つけるときに必然的に時間がかかるからです。その分信頼度は高く、大学図書館などに行けば豊富に本がそろっています。

一部の本は電子書籍として家にいても読めます。用途に合わせて使い分けてみましょう。



本を探して、情報を抽出するまで時間がかかるかも……

1.9：インターネット記事

あまり使わない方がよい、とはされていますがインターネット上の記事も参考文献として使えます。信頼できる情報かどうか、更新日は適切か（古すぎる情報ではないか）を確認しましょう。

また、参考文献を正しく記入しましょう。くれぐれも URL だけの記入は NG です。学部生の一般教養レベルだと参考文献の書き方がメインの減点ポイントになることもあるくらいです。



インターネットの記事は閲覧日が必要になります
調べたときに控えておきましょう

2

資料の読み方

2：資料の読み方



必要な文献を見つけて……さっそく読むぞー！



要領よく情報を抽出するためのコツを紹介するよ！

集めた文献をすべて読む。もちろんこれでもよいのですが、限られた時間でレポートを書き上げるためにはいくつかコツが必要になります。大量に文献を扱うことになる卒業論文でも役に立つので、ぜひマスターしましょう。

2.1：本の場合は目次と索引を見る



まずはキーワードに注目しよう！



目次と索引を上手に使ってね！

必要な情報を要領よく見つけるためには、自分が探したいキーワードに注目することが重要です。その助けになるのが目次と索引です。本の場合はそれらがついているので、自分が集めたい情報に関連する単語を探し、そこから広げていきましょう。

2.2：PDF の場合は単語検索をかける



PDF 資料だったら単語検索でしよう！

PDF の資料の場合はパソコンで単語検索をかけましょう。本と同様に関連する単語を抽出し、その前後を読みます。

◎単語検索

- Windows Ctrl + F
- Mac command + F

これを知っているかいないかで、情報収集の速さに大きく差が出ます。ぜひ覚えておきましょう。

2.3：文献の情報を記録しておく

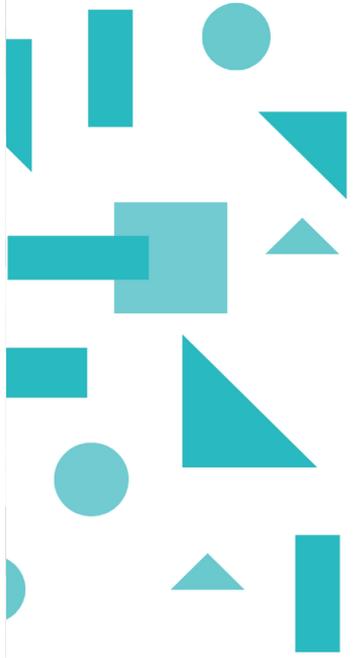


書誌情報の記録は絶対だよ！



あとから楽できるように、先に控えておこう

情報を集めたら、その文献の情報を記録しておきましょう。引用として表記する可能性があるので、ページとともに書きためておくのがおすすめです。卒論のように長期間に渡って研究する場合も同様で、Wordなどに文献情報とその内容をリンクさせて書きためます。実際に文章を書くときにはコピペするだけで参考文献を埋められるようにしておくのが理想です。



第3章

レポートの 書き方

CONTENTS---

- ・ 感想型のレポートの書き方
- ・ テーマ設定、情報収集をするレポートの書き方
- ・ 書評レポートの書き方
- ・ 抽象的・難しい・長文のレポートの書き方



レポートの書き方がわかりません～ 教えて～



うん！ 一緒に勉強しよう！ どんな課題かな？



えーっと授業で学んだことをまとめて自分の意見を書くやつと、あとは書評かな……



定番中の定番だね！ 授業の感想みたいなのはすぐ書けるでしょ？



うん。でも書評とか何か調べて書くやつはどうにも……



文字数が多いし最初は何を書いたらいいのかわからないかも
レポートをジャンル分けしながら順番に見ていこう

いよいよ実際に「レポートを書くこと」にフォーカスします。大学生にとってのレポートといえば、長期休暇の前の試練。放置しているとどんどんたまってしまうので、早めに片付けたいですね。

大学生のレポート、私は主に3つのタイプにわかれていると考えています。

◎レポートのタイプ

- ・授業の感想を書くレポート
- ・テーマ設定、情報収集をするレポート
- ・書評レポート

まずは、授業の感想を書くタイプ。授業で扱ったことの整理や、学んだことの活用、自分の意見を述べるといったものです。

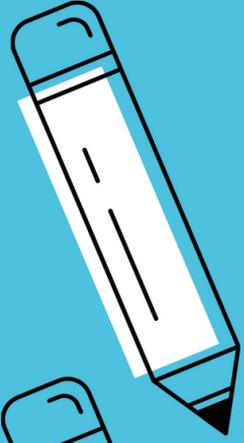
続いて、自分でテーマを設定して、情報を集め、それらを元を書いていくタイプ。もっともスタンダードでそれゆえ悩む人が多いのではないのでしょうか。

最後に書評レポートです。先生から指示された本を読んで、それについて意見を述べるものです。もっとも苦手な人が多いのではないかと思います。

この章では、これらの3つのタイプのレポートの書き方に加えて「難しく何を書いたらいいのかわからない、抽象的なレポート」へのアプローチも紹介します。

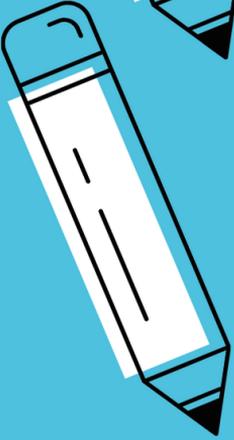
◎この章で扱うこと：タイプ別のレポートの書き方

- ・感想型のレポート書き方
- ・テーマ設定、情報収集をするレポートの書き方
- ・書評レポートの書き方
- ・抽象的、難しい、長文のレポートの書き方



1

感想型の レポートの書き方



1：感想型のレポート書き方



「この授業で学んだことを踏まえて、これからの生活で活かしたいことを 1000 字程度で」か



何か出されたみたいだね笑



うん。授業の感想を書けっていうレポート。そんなに難しくはないんだけど……



だけど？



感想で 1000 字ってまあまあ多くない？



まあ確かに。慣れれば 1000 字なんて少ない方なんだけど、はじめのころは結構負担かも



適当にやって終わらせよ～～



まあ、感想書くだけだから大したことないとは思うんだけど……
しっかりやるとこれからの役に立つから、ちょっと時間とって説明
いたしましょう！

最初に解説するのは「感想を書きなさい」タイプのレポートです。たぶん、感想なんて誰でも書けるとは思いますし、1000字くらいが指定されていても難なく書けてしまうと思います。

それでも、レポートの構造の基本をマスターするにはぴったりの素材です。この章ではテーマ設定をするレポートや書評レポートなどの書き方も解説しますが、その構造の基本になります。

特別アカデミックライティングをしなくても合格点がとれてしまう感想タイプのレポートですが、これから紹介するコツを活用して書いてみてください！

1.1：感想タイプのレポートで書くこと



感想タイプのレポートで書くべきことは以下の通りです

◎感想タイプのレポートで書くべきこと

- ・学んだこと、授業の内容
- ・学んだことについてどう思うか
- ・学んだことを今後どのように活かせるか

レポートの指示や文字数によっても取舍選択が必要ですが、基本的にはこの3つのことを上手に絡めながら書けば問題ありません。



単なる感想に留まらず、今後への活用を含めてみよう！

1.2：三段構造を意識する



一応レポートだからね！ 構造に注目しよう！

アカデミックライティングの解説でも触れましたが、レポートは基本的に三段構造です。せっかくのレポートなので、感想を書くだけのものでも、三段構造を意識して書いてみましょう。

例)

序論：本論で述べることを簡潔にまとめる

私はこの授業で〇〇ということ学んだ。〇〇は私にとって聞きなじみのないものであったが、非常に興味深く、普段の生活の中でも〇〇のことを意識したいと思った。

本論：細かく説明する

授業でも扱ったとおり、〇〇は△△というものである。……
これからの生活で〇〇を意識しようと思った理由は二つある。
一つめは……。二つめは……。

結論：まとめ

私にとって、〇〇はとても興味深い存在となった。授業で得た知識をさらに深めつつ、今後の生活でも活用していきたい。



この例では、簡単に三段構造を示してみたよ！

そこまでこだわらなくてもよいかもしれませんが、感想文を三段構造で示してみるとこのようになります。意識したいポイントは序論と結論です。

アカデミックライティングでは序論で「問い」と「答え」を述べること、結論でそのまとめを復唱をすることを説明しました。これと同じ要領で、序論で「このレポートで述べたいこと」をすべて詰め込んでしまいます。つまり、本論の要約です。そして結論でも同じように、述べたことをすべて回収する形でまとめます。

授業の感想を書くだけなら、ここでいう「本論」のみをかいても十分合格点がもらえると思います。でも、せつかくのレポートです。前後に序論と結論を付け足すだけで全体が締まります。そんなに時間もかからないと思うので、一度書いてみましょう。

1.3：活用したい書き方と言い回し



この書き方や言い回しを使うと読み手に伝わりやすくなります

◎活用したい書き方と言い回し

- ・結論を最初を書く
- ・「○○である。例えば……」
- ・「○○なことは三つある。一つめは……、二つめは……、三つめは……」

・結論を最初を書く

先ほどの序論の書き方に準じます。序論以外にも、最初に結論や「何を言いたいか」を書くと読み手に伝わりやすくなります。



不自然にならなければもったいぶらずに最初に結論を書こう！

・「○○である。例えば……」

結論や主張、定義を最初を書くことは大切ですが、それだけでは不十分です。何を言いたいのかわかりづらく、説得力も低いからです。そこで、そのあとに補足説明や具体例を続けるようにしましょう。論理の自然な流れができあがります。



具体例は文字数稼ぎにもなって楽だから、積極的に使おう！

・「○○なことは三つある。一つめは……、二つめは……、三つめは……」
言いたいことが複数ある場合は先に何個あるかを示し、そのあとに順番
に一つめ、二つめ、と文章を続けていきます。いつまでそのトピックが続
くのが明確になり、読み手に伝わりやすくなります。



この書き方は英語のレポートやプレゼンをするときでも同じです！



読み手や聞き手も主張の構造がわかりやすくなります

2

テーマ設定

情報収集をする

レポートの書き方

2：テーマ設定、情報収集をするレポートの書き方

「テーマ設定、情報収集をするレポート」と書いていますが、要するに前項目で紹介した感想を書くものでもなく、次に紹介する書評レポートでもない、いわゆる「普通のレポート」です。

例えば「日本の少子高齢化について述べなさい」「授業で扱ったことを中心に、教育について論じなさい」といったものです。大学生が学期末に書くレポートのなかで一番多いであろう、まさにスタンダードなレポートです。



「学期末レポート」ってやつだね。今までどれだけ苦労したことか



お疲れ様笑 流れを理解すればそこまで難しくはないはず！
次の流れで解説します！

◎テーマ設定、情報収集をするレポートの書き方の流れ

- ・レポートのテンプレ、型を理解する
- ・情報収集をする
- ・「問い」と「答え」を設定する
- ・構成メモをつくる
- ・テンプレの通りに文章を書く
- ・参考文献の表記



いよいよ本編突入！？ 気合い入れていこう！

2.1：レポートのテンプレ、型を理解する



第1章で序論・本論・結論でレポートを書くことを聞いたよね



そう。これがレポートのテンプレ！ もう一度確認してみよう！

◎レポートの三段構造：序論・本論・結論

序論：「問い」と「答え」を書く→導入

「このレポートで私は何をするのか」を書く。「問い」、「問い」の背景を加え、「答え」も紹介する

本論：なぜ「問い」が「答え」のようになるのかを示す→論証

資料をもとにいえることを書き出し、考察を行う。この課程が論証にあたる

結論：レポートの内容をすべて回収しながらまとめる→まとめ

本論を簡潔にまとめ、再び自分の「答え」を提示して全体を締める



テーマ（「問い」と「答え」）を設定して、資料を集めて、構成を考えてあとはこのテンプレに当てはめる……



早い話、これができればレポートを書けちゃいます
まあ、それが難しいんだけどね……

2.2：情報収集をする



まずは情報を集めるってことか



その通り。レポートで大切なのは客観性。だから主張や「答え」の根拠になる情報を探すんだ

第2章で紹介した方法を使って情報を集めましょう。学部生の期末レポートレベルであれば、そのテーマを扱った情報はいくらでも見つかります。とりあえず情報を片っ端から集めてみましょう。次の項目で扱う「問い」と「答え」がすでにはっきりしている場合は、ピンポイントで情報を集められます。



第2章のコツを活かしてみよう！

2.3：「問い」と「答え」を設定する



この項目は「2.2 情報収集をする」と前後する場合があります

レポートの指示を確認したときに、すぐに「問い」と「答え」は思い浮かんだでしょうか。その場合はこのプロセスは飛ばしてしまってもかまいません。しかし、場合によっては



いまいち「問い」と「答え」がわからないよー

という場合があるかと思います。

そんなときは、ここで紹介しているように、情報収集をしてから「問い」と「答え」を設定してみてください。

いろいろな情報を集めると何がわかるでしょうか。これらの情報をもとに「問い」と「答え」を設定します。第2章の後半で扱った本の読み方、情報の読み方を参考に、資料を読んでいきましょう。

この課程そのものが、おおよそ「問い」と「答え」の設定につながっていることが多いです。主に書籍では1つのテーマで完結させるようになっていますし、インターネットの情報でも何か困っていることに対して情報を提供していることがほとんどです。いくつか似たような情報を集めていくと、似たような「問い」と「答え」が見つかります。それらを自分なりに解釈して、オリジナルの「問い」と「答え」を設定しましょう。

◎ポイント

- ・「問い」と「答え」がすでにはっきりしている場合
→論証に使える情報を探す
- ・「問い」と「答え」が定まらない場合
→幅広く情報を集めて、情報の中の「問い」と「答え」を見つける。
そこからオリジナルの「問い」と「答え」を設定する



文献から感じた疑問でつくる「オリジナルの問い」か……



難しいけど、これができるとレポートのレベルは格段に上がるよ！

2.4：構成メモをつくる



構成メモを作って文章を書く指針をたてよう！

レポートを書く、というもののすごく頭を使うように思えますが、構成さえ決めてしまえば、あとは肉付け作業です。「問い」と「答え」を設定したら、どうしたら客観的に実証できるかを考えましょう。



具体例で考えてみよう！

例)「授業で扱ったことを参考に、地球温暖化について 2000 字程度で述べなさい」

このようなレポートの指示に対して、次のように「問い」と「答え」を立てたとします。

問い：地球温暖化の影響は何か？

答え：海面上昇により、海拔の低い島が消滅する

この場合には、

- ・地球温暖化で氷が溶けて海水が増えること
- ・ツバルなど、実際に海拔の低い国が消滅の危機にあること
- ・将来的に気温がどのように変化し、海拔の低い島は消滅する可能性が高いこと

これらの情報があれば、「問い」に対して客観的な根拠をもとに「答え」に導けます。

構成メモの例)

「問い」と「答え」

問い：地球温暖化の影響は何か？

答え：海面上昇により、海拔の低い島が消滅する

問いの分解

- ・地球温暖化で氷が溶けて海水が増えるのか？
- ・ツバルなど、実際に海拔の低い島が消滅するのか？
- ・将来的に気温がどのように変化し、海拔の低い島は消滅する可能性が高いのか？

分解した「問い」の考察

- ・地球温暖化で氷が溶けて海水が増える
 - 地球温暖化で気温が上昇しているデータを使う
 - 氷が溶けていることを述べる
 - 実際にどれくらい海面が上昇したかを述べる
- ・ツバルなど、実際に海拔の低い国が消滅の危機にある
 - 国連などのデータをもとに、海拔の低い国の状態を述べる
- ・将来的に気温がどのように変化し、海拔の低い国は消滅する可能性が高い
 - 将来の気温変化のデータを示す
 - 海拔がどのように変化するかを示す
 - 実際に海拔の低い国が消滅する可能性が高いことを示す

考察から分かること

これで「答え」の「海面上昇により、海拔の低い島が消滅する」が示される

2.5：テンプレの通りに文章を書く



構成メモができたー！ これを文章にするのか……



そんな難しく考えないで！

実は今の構成メモ、そのまま序論・本論・結論になってるんだ！



「問い」と「答え」の確認、問いの分解とアプローチ……

ほんとだ！ 序論・本論・結論に対応してる！

この要領で構成メモを書いていくと、自然と序論・本論・結論の流れになります。最初に、序論・本論・結論について次のようにお伝えしました。

序論：「問い」と「答え」を書く→導入

本論：なぜ「問い」が「答え」のようになるのかを示す→論証

結論：レポートの内容をすべて回収しながらまとめる→まとめ

メモはその通りの順番に書かれていることに気づくでしょうか。あとはメモの情報を元に文章を書いていけば、テンプレ通りの文章になります。



じゃあ、文章ってどうやって書くの？



第1章でも紹介したパラグラフィティングだよ！



パラグラフライティングの特徴はこんな感じです

◎パラグラフライティングの特徴

- ・トピックセンテンスが含まれる（言いたいことが述べられる）
- ・見出しがつけられる
- ・トピックセンテンスに関連する情報が書かれる



1つの段落に1つの「言いたいこと」ってことでいいのかな？



その通り。慣れないうちはこの方法でパラグラフライティングを試してみよう！

◎パラグラフライティングの流れ

- ・箇条書きで「言いたいこと」を整理する（見出し）
- ・その「言いたいこと」を一文で簡潔に書く（トピックセンテンス）
- ・資料をもとに、「言いたいこと」の説明をする（論証する）



この繰り返しで本論は書かれていくよ。慣れてきたら箇条書きをしなくても自然に書けるようになるはず！ 頑張って！

2.6：参考文献の表記



忘れてはいけないのが参考文献の表記。まずは次のことを確認しましょう

- 各種データは文章中やグラフに出典を明記する
 - 必要な場合は脚注を使う
 - 引用文献、参考文献はレポートの最後にリストとして表記する
- ※参考文献の表記方法については第5章でじっくり解説します。



これでレポートはできあがり！ 最初は時間がかかるけど、慣れてきたらスムーズに進みます



これから何回も書くんだから、はやめに覚えよう！

3

書評レポートの書き方

3：書評レポート

◎書評レポートの書き方を知ろう

大学に入ると一度は書かされるであろう書評レポート。新入生をはじめ、一番苦労するのが書評レポートなのではないでしょうか。書評レポートとは何かを知るところから、どのような方法でアプローチするか考えてみましょう。

3.1 書評レポートとは



書評レポートって何？ 感想文じゃないの？ 要約？



いくなれば、書評レポートは「本を読んだことの証明書」なのかな～

大学の教員は課題の本を読んでもほしいと思いますが、学生は本当に読むかわかりません。だから、本を読んで内容をまとめて、端的に意見を述べさせた書評をレポートとして課すのです。

では、そんな「本を読んだ証明書」にはどんな要素が必要なのかを考えると書評レポートで書くべき内容が見えてきます。本を読んで、何を考えたのか、何が重要だったのかを本の内容と自分の意見を上手に織り交ぜながら書いていくものが書評レポートになるのです。

3.2：書評レポートで書くべきこと



じゃあ実際に書評レポートで書くべきことって何なの？



ここまでの話をまとめて、具体的に書評レポートに何を書くか整理してみよう！

◎書評レポートで書くべきこと

1. 本の紹介
2. 本の論点や重要なポイントを整理してまとめる
3. 整理した内容に自分なりの考察を加える

「1. 本の紹介」については何も難しいことはありません。読む本の紹介をするだけで終了です。問題はそれ以降です。

「2. 本の論点や重要なポイントを整理してまとめる」では、本の内容の整理や要約を行います。基本的に本から得られる情報だけで整理するので、主観的な感想は一切入らず誰が書いても同じようなことがまとまります。

最後に「3. 整理した内容に自分なりの考察を加える」です。「2」でまとめた内容について客観的な考察を加えます。書評の「評」、論評に当たるプロセスです。意見を述べるパートなので基本的には人それぞれ違う内容ができあがります。



紹介、要約、意見文、ってところかな？



うんうん。まずはそんな感じで理解しといて～

3.3：本の読み方



書く内容はだいたい分かった！ でも本の読み方がわからないよ



書評レポートを書くための読み方を考えてみよう
ポイントはこんな感じかな……

◎書評する本の読み方

- ・チェックやメモをしながら読む
- ・筆者のいいたいことを探す

3.3.1：チェックやメモをしながら読む



早く終わらせたいからといい加減に読むととまらず、かえって時間がかかっちゃう。まずは鉛筆や付箋、メモを準備して丁寧に本を読んでみよう

まずはチェックやメモをしながら丁寧に本を読みます。抵抗がなければ鉛筆で本に書き込みましょう。本を読むときに意識することは

2. 本の論点や重要なポイントを整理してまとめる

この項目をクリアすることです。したがって、「本の論点や重要なポイント」を探しながら読みます。



ここからはこれを「著者の言いたいこと」と呼ぶことにします

3.3.2 : 「著者の言いたいこと」を探す



いきなり「著者の言いたいこと」を探せ、といわれても……



ここにはある種高校の現代文のテクニク的な部分があるんだ
難しいときは以下のポイントを意識してみよう

◎「著者の言いたいこと」のポイント

- ・ 端的で抽象的な文
- ・ 具体例などのわかりやすい文章の前後
- ・ 大事な接続詞「したがって、しかし、だから」などのあと

多くの本は

- ・ 世の中の常識とされていることを否定するため
- ・ 自分にしかない考え方を広めるため

これらのために書かれることが多いです。だから、「A だと思っ！」という考えを納得させるために、具体例やデータ、経験談を絡めながら書かれます。それらの冒頭や結論部分に端的で抽象的な文章が書かれる傾向にあります。それこそが「著者の言いたいこと」です。

また、具体例などの分かりやすい文章の前後にも、繰り返し「だから私はこう思う」という主張が端的に書かれます。その部分を抽出すれば、自然と「著者の言いたいこと」がまとまるはずですよ。



「具体例は飛ばす」みたいな読み方をすると早く読めるかも！

3.4：論点を整理する



本読み終わったー！ もう書き始めていいのかな？



本を読み終えたら一度論点を整理しましょう！

◎論点の整理のポイント

- ・「著者の言いたいこと」をグループ化する
- ・論点を膨らませる

3.4.1：「著者の言いたいこと」をグループ化する



「著者の言いたいこと」を分けて整理しよう！

「著者の言いたいこと」は一冊の本ともなればいくつかでできます。複数の「著者の言いたいこと」をいくつかのグループにまとめましょう。

本を読んでマークした重要なところを見てみましょう。見比べると「何となく似ているもの」や「さっきのことを言い換えたもの」があると気づくと思います。それらをグループ分けして、核になるものを決めましょう。

これが「2. 重要な論点を整理」で要求されている論点で、そのまま「3. 書く論点について自分なりに考察」のテーマに引き継がれます。

書評レポートの文字数にもよりますが、3つほどのグループに分けて論点としてまとめるのがおすすめです。いくつか選べる場合は、自分が考察を加えやすいもの、他の論点と異なり議論が深まりそうなものを選んでみましょう。

3.4.2：論点を膨らませる



グループ分けしただけだと一瞬で終わっちゃうよね



「著者の言いたいこと」をもとに自分で内容を再構成して膨らませよう！

「著者の言いたいこと」をいくつか絞ったらその論点をもとに、もう少し内容を膨らませます。例えば論点が3つあったとしても、「著者は○○ということに重要視している」だけで終わってしまっは不十分だからです。

このプロセスでは実際に文章に書くときのために、わかりやすく膨らませます。グループ分けしたいくつかの論点の中にはいくつか似たような主張があるはず。それを見て自分の言葉でわかりやすく文章を膨らませます。

実はこのプロセスはいわゆる要約にあたります。要約と聞くと難しそう感じるかもしれませんが、論点を再構成すると考えればそこまで難しくはありません。

グループ分けした論点の似た主張を自分の言葉でわかりやすく再構成しましょう。すると内容が濃くなり、伝わりやすい自然な要約ができあがります。



これで「2. 重要な論点を整理」の項目は完成！



ここに自分なりの考察を加えて仕上げるよ！

3.5：自分なりの考察を加える



考察……自分の思っていることを書けばいいのかな？



考察でも客観的に伝わる考察を加えるんだ



客観性……何をしたらいいのかわからないよ～～



そんなときは「比較」の観点を使ってみよう！

いきなり客観性、といわれても何をすれば客観的なかわからないという方も多いかと思います。

そこで最初は「比較」を使うところから始めてみましょう。理解もしやすく、自然と客観性のある文章が書けるはずです。

◎比較のポイント

- ・状況を変えて比較する、諸外国と比較する
- ・ほかの文献と比較する
- ・常識と比較する
- ・現在と比較する



この比較を使うと上手に書けるよ！

3.5.1：状況を変えて比較する、諸外国と比較する

「著者の主張は日本では〇〇だが、外国では状況が異なる」という比較方法です。外国に限らず、他地域、違う状況を設定してもよいでしょう。

慣れないうちはこの比較方法が最もおすすめです。「著者の言いたいこと」はすべての状況で成立するわけではなく、状況が違えばその理論は通用しない、という論評を自然に展開できます。

政治や教育、労働などの現代社会に関する比較なら北欧諸国がおすすめです。違いが出やすいものを選ぶと書きやすいでしょう。



とりあえず外国と比較すれば、それっぽくなります笑

3.5.2：ほかの文献と比較する

書評で読んだ本以外に紹介された本はあるでしょうか。同じジャンルの本であっても著者によって当然主張は異なります。「この本では〇〇だが、別の『△△』という本では異なった」という視点から考察を進めます。

参考図書としていくつか文献が紹介されることも多いので、並行して深い議論ができます。



ここから新しい「問い」が生まれることも……

3.5.3：常識と比較する

意外と有効なのが常識との比較です。本は常識とは異なることを主張することが多いので、当然「著者の主張」と一般常識が食い違うことは多いのです。そのポイントについて、具体的な例をあげながら深めていきましょう。

常識と比較するので、単に事実を述べた文章や文学作品では少し難しいかもしれません。いわゆる「評論」とよばれる文章では自然な考察につながられます。



本を読んで素直に感じたことと常識を比較しよう！

3.5.4：現在と比較する

課題として読む本はいつ出版されたものでしょうか。本が出版された時代と現在では状況が異なることは多くあります。その観点から考察を加えましょう。

「著者が主張する〇〇は現在では否定されるだろう」という考察は、自分の考えと著者の意見をうまく織り交ぜたものであり、考察としては非常に有効です。

デリケートな部分ですが、最近見直されてきた LGBT などの性の多様性やジェンダーの話題などはこの比較が有効なことが多いです。



「価値観」にしぼって考えるとわかりやすいよ！

3.6：書評レポートの文章の書き方



内容も固まっていよいよ書き始めだー！

ここまで、

1. 本の紹介
2. 本の論点や重要なポイントを整理してまとめる
3. 整理した内容に自分なりの考察を加える

このプロセスで内容を整理しました。実際に書くときも、この三段構造が書評レポートにおけるテンプレになります。それでは、実際にこの流れに沿って、文章の書き方を解説します。

3.6.1：本の紹介



本の紹介をするだけでおしまいです

まずはどんな本について論評をするのかを示すべく、本の紹介をします。書評レポートの中では一番簡単な部分で、

- ・ 読んだ本の著者、タイトル
- ・ 主に何について論じたものか

この二つを説明してしまえばもうそれでおしまいです。この部分はあまり深く考えずに書きましょう。100字もあれば十分です。

3.6.2：本の論点や重要なポイントを整理してまとめる



内容整理、要約で本の内容を伝えよう！

本を読んで整理した内容を文章化します。この項目では、主に二通りの書き方があります。

- ・要約形式で本のあらすじを示す
- ・要点＋補足の形式で示す

要約形式の場合は、「序盤では〇〇の主張が、中盤では〇〇の主張が……」と続けます。

要点＋補足の形式の場合は「この著者は〇〇ということを述べている」と順序に関係なく進めます。

どちらかを選ぶかは本の種類によります。本まるまる一冊を書評する場合は、序論・本論・結論の三段構成になっていることが多いので、要約形式で進めた方が網羅性が高くなります。

一方、本の一部や短めの文章の場合は要点＋補足でポイントを絞って書いた方がまとまりがよくなります。書き方が違うだけで基本的にはメモをしながら読んだ内容を自分でまとめ直すと考えてください。

3.6.3 整理した内容に自分なりの考察を加える



比較を使って論点にツッコミを入れよう！

最後に先ほど取上げた論点について考察を加えます。

要点の整理が終わったら、「ここから考察に入ります」という文言を加えて、考察パートが始まることを読み手に伝えましょう。

基本的には一つの論点につき、一つの考察で十分です。それぞれの論点に適した比較方法を考えましょう。最後に軽くまとめを入れれば書評レポートのできあがりです。



「まとめ」は今まで同様、述べてきたことを全部回収しながら短くまとめるんだ

4

抽象的・難しい・長文の レポートの書き方

4：抽象度の高いレポート・難しいレポート

◎何を書いたらいいのかわからないレポートに対応できるようになろう



何を書いたらいいのかわからないレポートが出されました……



あー、あるある。先生の理解領域に追いつかないやつね



指示も曖昧すぎて、何を書くのがベストなのか……



それじゃあ、今までやってきたことも踏まえながらちょっと癖のあるレポートの書き方を考えてみよう！

例えば……

- ・「科学技術」と「科学・技術」の違いを明らかにしたうえで、それらと現代社会、政治との関わり方を述べなさい
- ・講義で扱った内容（抽象度が高いこと）で興味のあるものについて論じなさい

みたいな内容が今回のテーマになります。

要するに、「このレポートは何を書いてほしいのかわからん！」っていうやつです。通例、これらのレポートは極端に字数が少なかったり（800字以内）、異常に長かったり（4000字以上）とまとめるのも難しくなっていることが多いです。

ここで対象にするのはこんなレポートです。

- 何を書いたらいいのかわからない
- テーマ設定が自由すぎる
- 字数が多い（4000 字以上）
- 内容が抽象的、哲学的

これらを少しでも簡単に分かりやすくするためにどうすればよいのか、具体的には以下のポイントを意識してみましょう。

◎テーマ決定のポイント

- 抽象的な内容は自分なりに租借して書けそうなテーマに絞って書く
- 比較できそうな二つのものを並べて構成を考える
- 具体例が多そうなテーマを選ぶ

◎書き方のポイント

- 言葉や定義が複雑な場合は前提事項として共有する
- 定義→具体例、抽象→具体の流れで具体例をあげ、わかりやすくする
- 抽象的で分からないことは先人の知恵をパクリ
- 抽象的なレポートの「抽象的な部分」は理解できていなくても「正しいこと」を書く
- 提案は文献不要でも説得力が出る
- 自分で設定した問題事項クリアしていれば理想論を語っても大丈夫



ウラ技じゃないけど、使える方法です！ 試してみよう

4.1：抽象的な内容は自分なりに租借して書けそうなテーマに絞って書く



わからない……何書いたらいいのー??



指示が意味不明でも、1つくらいは理解できるところがあるんじゃないかな？

書きやすく、自分なりに租借できそうなテーマを設定しよう

意味不明でも、部分的には理解できるところがあるのではないのでしょうか。指示が難しい場合は、自分なりに租借して書けそうなテーマを設定しましょう。

内容だけ見ると意味不明でも、裏を返せば比較的自由にテーマ設定ができて、独自の理論を展開できる可能性が高いということでもあるのです。そこで、難しい内容であっても、なんとかわかる内容をまずは整理してみましょう。それを核にして進めます。

その核になるテーマをもとに、「問い」と「答え」を作ってみましょう。こじつけでもよいのです。とにかく、なんとかわかりそうなテーマを使って「問い」と「答え」を立てます。

4.2：比較できそうな二つのものを並べて構成を考える



二項対立といって、二つのものを引き合いに出して議論を進めると論点がわかりやすくなります

字数が長く、いまいち何を書いたらいいのかわからない、そんなときには「二項対立」を使ってみましょう。

◎二項対立

矛盾、対立の関係にある二つの概念。男と女、主観と客観など。



なんだか難しいな……



今まで何度か取り上げた「比較の視点」も実は二項対立なんだ
日本と外国、現在と過去なんかを考察で使ったよね

今までは考察の方法として示してきた比較をレポートの組み立て段階から取り上げてみましょう。与えられたテーマに対して何らかの矛盾、対立する二つの観点をたてます。そこから、それぞれの観点についての議論を深めましょう。

4.3：具体例が多そうなテーマを選ぶ



自分でも何を書いているのかわからなくなりそうなんだよね……



なるべく具体例の多そうなテーマを選ぶと、自分でも納得して書けるよ！

レポートにおける具体例って、とにかく有能です。まず、字数稼ぎになること。そして、基本的には事実をそのまま写すだけなので、調べることさえできれば特に悩むことはありません。また、自分の理解や読み手の理解も深まるので、具体例を活用しない手はありません。

難しいな、抽象的だな、と感じるジャンルにはぜひ具体例を多く使えそうなテーマを設定しましょう。自分が知っていることにこじつけてしまうのも OK です。

4.4：言葉や定義が複雑な場合は前提事項として共有する



訳のわからないことを書いてるんだけど、難しい言葉ばかりで伝わるのかな……？



そんなときは、言葉の説明や前提事項共有のパラグラフを作ってしまうおう

難しいレポートには難しい言葉や知識がつきものです。自分でも何を言っているのかわからなくなってしまうこともあります。そこで、複雑なものは、まとめて前提事項として共有しましょう。

4.5：定義→具体例、抽象→具体の流れで具体例をあげ、わかりやすくする



内容が難しくても、とにかくわかりやすく書くことが大事！ そんなときに必要なのは？？



具体例！



そのとおり！

定義→具体例、抽象→具体の流れを意識して書いてみよう

アカデミックライティングでは、最初に「問い」と「答え」を述べることをお伝えしました。結論は最初で述べていても抽象的。だから、本論で具体的に説明を加えていくのです。

これと同じ流れをレポートを書くときにも意識してみましよう。最初に定義や抽象的な言葉を並べ、そのあとに具体例で補強、というのが基本的な流れになります。この流れがもっとも読み手に自然に伝わりやすく、書きやすい方法でもあります。

具体例が多そうなテーマを選ぶのも、これが理由です。基本的に抽象度の高いテーマほど内容は大したことではありません。ポイントは難解な言葉をいかにわかりやすく説明するかにかかっています。その意味で、定義や抽象的な言葉のあとに具体例を続けることがもっとも有効な方法といえるのです。

4.6：抽象的でわからないことは先人の知恵をパクリ



定義のあとに具体例を続ける……でも、この定義何を言っているのかわからないよー



わからないのは当然、あえて難しくいってるんだから



じゃあ、レポートが進まないよ……



そんなときは、難しくてもそのまま書いてしまえばよろしい！
あとに具体例を続ければ「わかっている雰囲気」がでるから！

難しいことはだれが考えても難しいんです。専門的に研究するのでなければ、完璧に理解する必要はありません。

レポートを書くことだけにフォーカスするのであれば、レジュメ、文献など先人が残してくれた知恵をそのまま書いてしまえば、ひとまず定義を述べることができます。

この部分、自分が理解しているかどうかは関係なく、文献にあるとおりに正しいことが書いてあればそれでよいのです。あとは、具体例を続けていけば、定義を説明している雰囲気が出ます。すると、読み手（先生）は「この学生はこんな解釈をしたのか」と理解してくれるのです。

4.7：抽象的なレポートの「抽象的な部分」は理解できていなくても「正しいこと」を書く



文献にあることは「正しい」のです

1つ前の項目に関連しますが、「抽象的な部分」は理解できなくても、とりあえず書いてしまえばよいのです。

何かの文献に書かれていることは、たとえ自分が理解できていなくても「正しいこと」には違いありません。それをそのまま書いていけばクリアできます。

4.8：提案は文献不要でも説得力が出る



これ以上書けない……



問題がなさそうなら、「提案」をレポートに盛り込んでみよう。自分の理想を語ればクリアだから楽に書けるよ！

難しいレポートって、書ける量に限界があります。そんなときに使いたいのが提案です。書けるジャンルとそうでないものがあるのですが、書ける場合はぜひ活用しましょう。

4.9：自分で設定した問題事項をクリアしていれば理想論を語っても大丈夫

提案は設定した問題をクリアしていれば、理想論を語るだけでも説得力が高くなります。また、自分の考えを述べるものなので、文献がなくても大丈夫です。

第4章

徹底研究!

頻出テーマ

CONTENTS---

- ・ グローバル化・多文化共生
- ・ ジェンダー
- ・ セクシュアリティ・性の多様性
- ・ 労働
- ・ 教育
- ・ 日本文化



レポート書かないと……でも何を書いたらいいんだろう……？



さっそくレポートが出たんだね！ テーマは何？



「現代社会における多様性について」2000字以上で、だってさ



学部の最初のころならまあまあ量の量かな？ それにしてもテーマが広いね…



いくつかレポートの課題があるけど、現代社会に関するテーマってとにかく多くて……どうしたらいいの？



確かにそうかも。専門が固まっていない一般教養の授業だと現代社会に関するトピックが扱われることが多いよね。ちょっと一緒に考えてみよう

大学の一般教養の授業にはどのようなものがあるでしょうか。文学系、自然科学系、数学系、物理系、歴史系、医学系、社会学系、経済系、法律系などなど。大学や先生によって特色のある授業が開講されるかと思いません。

その中でも現代社会に関する授業は群を抜いて多いように感じます。学生の関心が集まりやすく、また特別な前提知識を必要としないことが多いからです。

授業の内容が現代社会系だと、当然レポートも何かしら現代社会系のことを書かなければなりません。また、英語をはじめ外国語系の授業で出題されるレポート課題も、文献の検索のしやすさから現代社会系に偏る傾向があります。

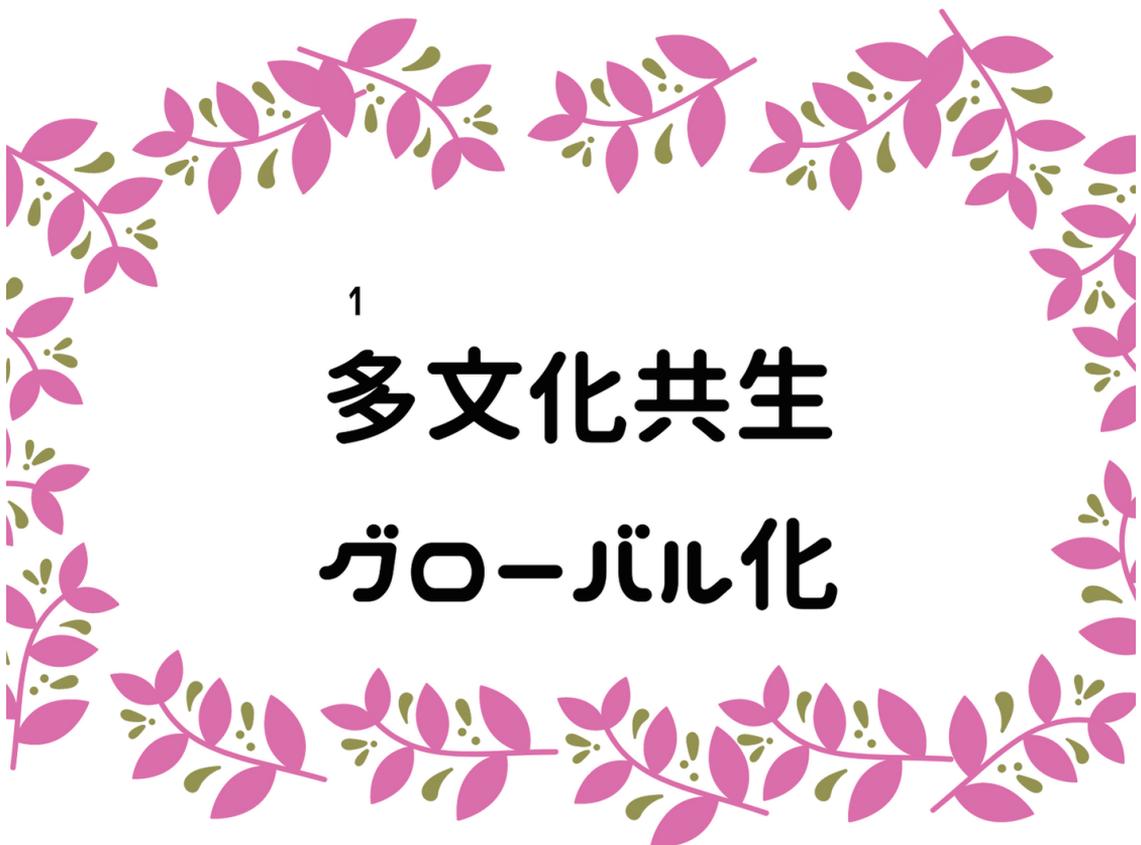
このような傾向を考えると、ある程度現代社会に関するトピックを理解したうえで、「何となくこんなアプローチをする」というテンプレがわかってしまえば、かなりスムーズにレポートを仕上げられます。

抽象度が高いレポートでは自分の議論しやすいものに関連づけることが有効とお伝えしました。このような場合も論じやすい現代社会のトピックに結びつければ書きやすく説得力のあるレポートができます。

そこで、私が今まで触れた中で多そうと感じた分野を中心に、基礎的な情報とレポートへのアプローチ方法をご紹介します。正解としてすべての情報を提示するのではなく、切り口を提示する形になっています。実際にレポートを書くときに調べながら、どの切り口が有効か考えてみてください。

◎この章で扱うこと：現代社会系のレポートのネタと切り口

- ・ グローバル化・多文化共生
- ・ ジェンダー
- ・ セクシュアリティ・性の多様性
- ・ 労働
- ・ 教育
- ・ 日本文化



1
多文化共生
グローバル化

1：グローバル化・多文化共生



何となく今まで一番触れることが多かったトピックの気がする



まあ、どんな内容でも一つの観点として使えるからね！

「多文化共生が続く中、これからの日本は……」

「グローバル化をきっかけに人の移動はますます激しくなり……」

こんな書き出しで始まるレポートを書いたり、授業で使われるレジュメが配られたりと、とにかく大学の授業で一度は扱われるトピックです。

別の話題のトピックであっても何らかの形で多文化共生やグローバル化の観点を絡めて議論できるので、一つの切り口としても押さえておきましょう。

1.1 グローバル化とは？



レポートで書こうとしてるってことは、ちゃんと意味をわかってるんだらうね？



(^^)

◎グローバル化

国や地域をこえて、世界規模で社会や経済の結びつきが強まること



似たような言葉の国際化も合わせて押さえておきましょう

◎国際化

国と国とが深い関係になっていくこと



国際化は国単位で深く交流していくこと
グローバル化は世界単位、地球単位で一体化すること
垣根のとらえ方が違うって考えたらいいかな？



そんなグローバル化も大きく4つに分けて考えてみよう

- ・経済のグローバル化
- ・文化のグローバル化
- ・政治のグローバル化
- ・人材のグローバル化

1.2：経済のグローバル化



資本や技術が国境を越えることをいうんだ



Twitter や Google なんかの外国の企業のサービス利用なんかも含むんだね

何千年も歴史をさかのぼれば、すべての人は自給自足の生活をしていたはずで。そして、食物の貯蔵ができるようになると、少しずつ経済が発達していきました。その交流は人同士、村同士、町同士、そして国同士の交流へと発展していったのです。

このように、貿易をはじめとして国同士の経済は、時代を経るにつれて活発になっていきました。

現代に置き換えると、輸出入で日本の製品を外国に売ったり、外国製の製品を取り寄せたりすることは日常的に行われています。そのほかにも、インターネットを中心としたサービスも国をこえて使えるようになってきました。

一般的に「グローバル化による影響は……」で語られるトピックは経済のグローバル化です。しかし、私たちの生活が豊かになる反面、地域性が損なわれたり、自国産業の衰退が起こったりと、必ずしもよい面ばかりではありません。

1.3：文化のグローバル化



好きな食べ物は？



寿司、焼き肉、ハンバーガー、カレー、おしゃれなフランス料理も捨てがたい



素晴らしい具体例！ それを食べられるのは食文化のグローバル化のおかげなんだ

食文化をはじめ、様々な国の文化も地域をこえて定着していきました。食文化もその一例です。世界遺産などの建築を見ている、いくつかの建築様式が混ざったものが見つかると思います。

このように、様々な地域の文化が混ざることで、生活の選択肢が広がります。また、文化が融合して、あらたな文化が生まれることもあります。その反面、既存の文化が損なわれ、文化を優劣で判断する風習も出てくる可能性があります。

わかりやすい例は少数言語の問題です。世界には私たちが想像している以上に多様な言語があります。人口の減少、異文化の混入で少しずつその多様な言語が失われてしまうのです。

言語を含め、文化の減少は人類の遺産の損失にもつながります。文化のグローバル化の二面性を理解したうえで、違いを楽しむ必要があります。

1.4：政治のグローバル化



EU なんかがわかりやすい例だね



国、地域の概念を超えて政治が行われる、っていうことかな？

多くの場合、政治のグローバル化は経済や文化のグローバル化にともなって起こります。国をこえていろいろな製品やサービスが伝わり、文化も広がると、「政治、地域の統括もまとめた方が楽なのでは？」という考え方ができます。EU がわかりやすい例で、国を超えて一つの共同体を作っている点は注目です。

1.5：人材のグローバル化



海外旅行はもちろん、海外出張も今では増えてきたよね



人の移動に注目するとわかりやすくなるかな

人材、と聞くと仕事のことを考えてしまいがちですが、必ずしもそれだけではありません。飛行機をはじめとした交通機関が整備されたことにより、私たちは簡単に外国に行けるようになりました。経済のグローバル化によって国境を越える企業が増えてきたことに伴って、人の移動も多くなってきました。

この人の移動の増加でも良い面と悪い面が存在します。

わかりやすいところでは移民でしょう。他の国に移住しやすくなったともいえますし、国によっては移民の増加に悩まされることもあります。

1.6：レポートへのアプローチ



グローバル化はそれ単体よりも別のテーマの1つの観点として取り入れられることが多いです



次の観点を応用してみよう！

おすすめのアプローチ

- グローバル化の4観点
- グローバル化で変わったこと
- グローバル化の良い面と悪い面

○グローバル化の4観点



解説したことから感じたことを「問い」にしてみよう！



4つの観点でも、どれか1つに絞ってもOK！

ここまで解説してきたグローバル化の4つの観点はそれ単体でも十分に議論の余地があります。解説したことの深掘りや、グローバル化の定義から考えてみるのも有効です。

それぞれの項目は、現代社会系のトピックの1つの観点としてストックしておくとい良いでしょう。

○グローバル化で変わったこと



グローバル化を歴史的な観点から見てみます



メリットデメリットの比較もしやすく、客観的なレポートが書けるよ！

歴史から考えると、「昔は〇〇だったが、グローバル化によって〇〇になった」という二項対立が簡単にできあがります。

何か1つの分野に絞って、それはグローバル化の影響をどのように受けてきたのか、今後それはどのような変化をとげるのか、考えてみましょう。また、変化したことによって生まれたよい点と悪い点も添えると全体が締まります。

○グローバル化の良い面と悪い面



こちらが良い面と悪い面の二項対立です！



慣れないうちはこの方法を使おう！

グローバル化によってよくなったこと、反対に悪くなってしまったことは何でしょうか。それぞれの何か1つの観点から考えてみましょう。それについて自分はどう思うのか、今後どのように改善していくべきかを述べてもよいでしょう。

2

ジェンダー

2：ジェンダー



ジェンダーって何？



辞書的には社会的、文化的に与えられた性とされます

ジェンダーという言葉はもう日本語に同化してしまったのではないのでしょうか。注目されることも問題視されることも多い言葉なので、一度は聞いたことがあるかと思います。まずはジェンダーの定義を確認しましょう。

◎ジェンダー

社会的、文化的に形成された性別。生物学的な性とは異なり、「男とはこういうものだ」「女とはこういうものだ」といった観念から定義したもの

この定義からもわかるように生物学的な性ではなく、ある種現代社会が形成される中で生まれた偏見ともいえるかもしれません。ジェンダーについて議論されるときによくテーマになるものが労働です。「男は仕事、女は家庭」という日本古来の考え方を含め、職業による性的不平等なども問題視されます。

レポートでは頻出であり、ほかのテーマとも結びつけやすい分野でもあります。ジェンダーに関する現状と問題点を知り、どのようにアプローチするかを考えましょう。

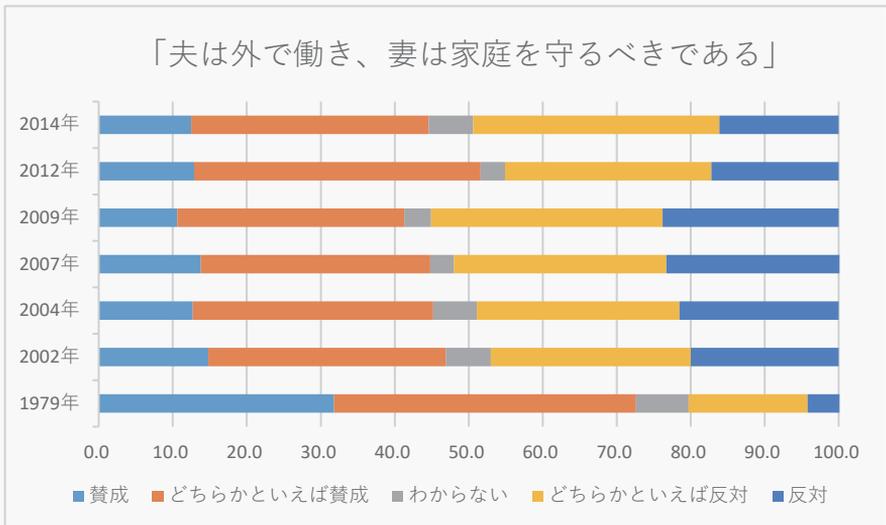
2.1：日本におけるジェンダーの考え方の現状



日本におけるジェンダーの考え方って実際どうなの？



まずは冒頭でも取り上げた「男は仕事、女は家庭」に関するデータを見てみよう

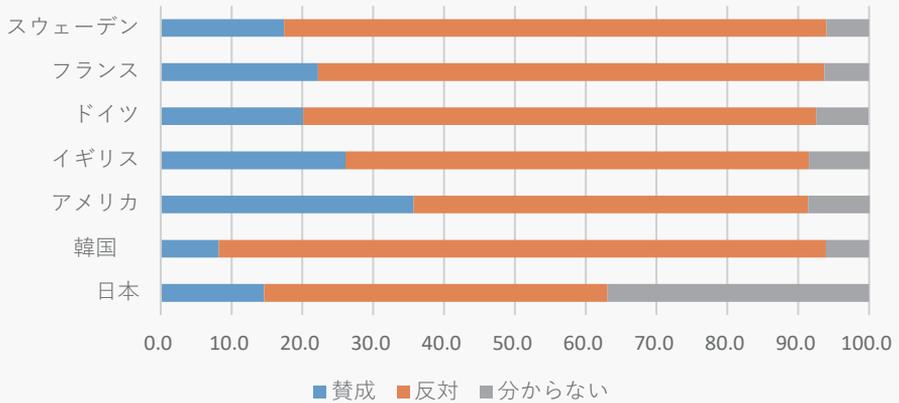


(出典：「女性の活躍推進に関する世論調査」(H26 内閣府) より)

時代が進むにつれて少しずつ賛成の割合が減っていることがわかるかと思いますが。この中でもっとも古い1979年では賛成、どちらかといえば賛成で70%以上を占めていることがわかります。日本社会の特徴ともいえたこの考え方は少しずつ変化してきているともいえるでしょう。

では国際比較をするとどうなのでしょう。同じく内閣府が10・20代を中心に、日本、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデンで行った調査では次のようになっています。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」



(出典：内閣府より)



「反対する」の割合が最も高いのは韓国で85%を超えてる！
ヨーロッパ諸国でも軒並み65%を超え！



「Yes・No」をはっきり言えない日本人の特徴なのか、「わからない」の割合が日本のデータで多いのも気になるけど……
それでもはっきりと「反対する」と考えている人の割合がこの中でも少ないのは明らかだね……

この調査は最初にあげたものとは異なり、若い世代を対象にしたものなので、少しずつ性別役割分担に対して否定的な考えを持つ人が増えていると思います。それでも、まだまだジェンダー平等に対する考え方が浸透しきっていないのは日本の課題でしょう。

2.2：日本におけるジェンダーの現状



じゃあ、そんな日本のジェンダー平等に関する現状はどのようになっているのかな？



内閣府が公開しているジェンダー平等のスコアと国際比較をした順位はこんな感じ

1	アイスランド	0.877
2	ノルウェー	0.842
3	フィンランド	0.832
4	スウェーデン	0.820
5	ニカラグア	0.804
6	ニュージーランド	0.799
7	アイルランド	0.789
8	スペイン	0.795
9	ルワンダ	0.791
10	ドイツ	0.787
121	日本	0.652

経済	115位
政治	144位
教育	91位
健康	40位

(「ジェンダー・ギャップ指数 2020」 内閣府より)



大きく目立つのが政治と経済の分野だね……



国会議員をはじめ、様々な議会とか重役では何というか、オジサンばかりが集まっている映像が多い気が……

一方、私が大学で学んでいる北欧では政治経済分野での女性参画は大きく進んでいます。国会議員や大臣は半分が女性、男女ともに外で働くのは当たり前なのです。このように見えてみると日本におけるジェンダーの現状が浮き彫りになってきます。

2.3：レポートへのアプローチ

ざっくりとですが日本のジェンダーについての現状と課題がわかったところで、どのようにレポートにアプローチするか考えてみましょう。

ジェンダーに関するトピックは定番であるうえに、現代社会について論じるものであれば関連づけやすいです。ジェンダーについて次のことを意識してレポートに役立てましょう。

レポートへのアプローチ

- 日本のジェンダーの現状
- 諸外国との比較
- 日本のジェンダー平等の背景
- 日本のジェンダー平等が遅れている理由
- 諸外国のジェンダー平等に対するとりくみ
- ジェンダーと恋愛



ジェンダーのトピックは比較が有効なものが多そう！



日本とほかの国を比べると、議論できる「問い」が見つかります

○日本のジェンダー平等の現状



紹介した資料以外にもたくさん出てくるよ！

ジェンダーに関するトピックを論じる場合、まずは日本のジェンダー平等の現状を述べるとよいでしょう。現状は冒頭で説明したとおり、内閣府の資料を中心に「ジェンダーに関する考え方」や「政治経済における指数」が使えます。

○諸外国との比較



日本を知るためには外国を知ることから……

次に比較です。このように日本とその他の国で価値観の違いが出そうなトピックは比較が非常に有効です。解説で示した例からもわかるように、諸外国と日本を比較すると客観的に日本の現状がわかります。

日本だけでなく、例えば「韓国のジェンダー平等について論じなさい」と指示された場合でも同様です。まずは現状を客観的に把握するために諸外国と比較をしてみましょう。

比較をすると「よいのか・悪いのか」が見えてきます。日本において、今回のジェンダー平等は明らかに遅れていると考えられます。SDGsの掲げる目標にもジェンダー平等は含まれていますが、いくつかの国と比べても日本は遅れていることがわかります。

○日本のジェンダー平等の背景

何かの結果には必ず原因があります。今回問題として取り上げているジェンダーも日本が遅れている原因があるはずで、次はこの原因、背景からアプローチしてみましょう。

日本の場合は古来からの「男は仕事、女は家庭」という考え方が強いように考えられます。これは冒頭でも取り上げたように、時代をさかのぼるほど性別役割分担に賛成する人が多いことからわかります。そのほかの原因も調べてみるとおもしろいかもしれません。

○日本のジェンダー平等が遅れている理由



ジェンダー平等の意識が広がっているのになぜ改善しないのかな？



次の観点から調べるとわかるかも！

- ・政治、経済分野での現状を調べる
- ・ジェンダー平等問題に対する取り組みを調べる
- ・取り組みが始まってからどのような変化があったかを調べる

レポートで論じる場合は基本的に「顕著なもの」に注目した方がわかりやすくなります。今回の場合は政治・経済分野でのジェンダー間の不平等が目立っていました。その部分に注目して現状や取り組みを調べてみましょう。

今回取り上げた政治・経済分野での現状としては、国会議員、国務大臣の男女比、企業での重役の男女比、社員の給与の違いなどに着目すると問題が浮き彫りになってきます。

一応、日本もジェンダー平等の現状については問題意識を持っています。そのため、何らかの取り組みは行われているはずですが、古いもので言えば男女雇用機会均等法や男女参画社会基本法です。また、最近では女性の社会進出促進のためのプログラムも増えているため、調べれば現状に対する取り組みはいくらでもできます。

そして、どのような変化が生じたのかを調べるとさらに課題を深掘りできます。先ほどの例でいえば、なぜジェンダー平等に関する法律が20世紀後半に制定されたのにも関わらず、諸外国と比べて遅れているのでしょうか。

また、女性の社会進出促進のサポートによってどのように変化したのでしょうか。取り組みに対する成果を考えるとより課題の根幹を理解しやすくなります。

○諸外国のジェンダー平等に対すとりくみ



じゃあ、外国はどうだったのかな？

客観性を出したかったらとにかく比較を取り入れましょう。日本のジェンダー平等が遅れている現状を調べたのであれば、なぜそのような結果になったのかをもっとはっきりさせる必要があります。

なぜ諸外国と日本の中にジェンダー平等の問題や意識はここまで差が出てしまったのか、同じ手法で考えます。

諸外国ではどのような取り組みをして成功（失敗）して今に至るのか、日本との違いは何だったのかを考えましょう。

○ジェンダーと恋愛



「好きです！ 僕とつきあってください！」



ってというのは男性から。そんな文化ながんとなくあるんじゃないかな



もう！ なんて役やらせるの！



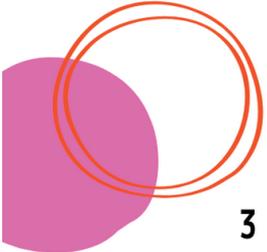
というか、告白って日本の文化。欧米諸国では交際のはじまりを意味する「つきあってください」の文化はありません笑

ジェンダーというと女性の社会進出とかに話題が行きがちで、男性が既得権益者というイメージが強いかと思います。

でも、そうではないことも実は結構あったり……

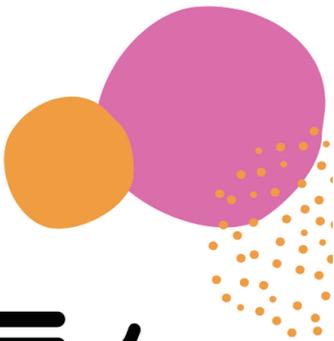
- ・告白は男性から
- ・飲み会は男性のほうが多く徴収される
- ・映画館にレディスデイがあってメンズデイがない

深刻な問題か、と聞かれるとそうでもないよう気もしますが、ジェンダーの観点から考えると当たり前も当たり前ではなくなってきました。男性の草食化が話題に上がりますが、恋愛の観点には意外と気付かないジェンダーのトピックがあります。身近な経験を踏まえつつ、調べてみるのもおもしろいかもかもしれません。

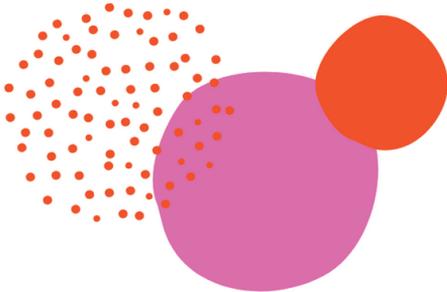


3

セクシュアリティ



性の多様性



3：セクシュアリティ・性の多様性



最近よく聞くようになった言葉だね。何について考えればいいのかな？



概要を理解したうえで何かに絞って議論を組み立てよう

最近になって注目されるようになったトピックに、セクシュアリティや性の多様性があります。

日本では具体的に LGBT とよばれて紹介されることが多いです。大学の授業ではこのような性のアイデンティティを専門としたものはもちろん、現代社会を扱う授業では何らかの形で触れられるはずです。

まずは最近よく耳にする LGBT について確認しましょう。

◎LGBT

- Lesbian……レズビアン・女性同性愛者
- Gay……ゲイ・男性同性愛者
- Bisexual……バイセクシュアル・両性愛者
- Transgender……トランスジェンダー・性別越境者

LGBT は、これらのいわゆるセクシュアルマイノリティ（性的少数者）の頭文字をとったものです。日本では LGBT と聞くことが多いので、セクシュアルマイノリティはこれだけのように思われがちですが、実際にはもっとたくさんの性のアイデンティティが存在します。

なじみのある LGBT を切り口に性のアイデンティティについて考えてみましょう。

3.1 性のアイデンティティ



LGBT はよく聞くけどほかにはどんなものがあるのかな？



多様な価値観がある中で、すべてを厳密に定義できません
まずは代表的なものを押さえましょう

LGBT はよく聞きますが、実際にはさらにたくさんの概念があります。
前提として、多様な価値観がある中ですべてを厳密に定義できないことを
心にとめてください。まずは代表的なものを押さえましょう。

◎代表的な性のアイデンティティ

- Lesbian レズビアン・女性同性愛者
- Gay ゲイ・男性同性愛者
- Bisexual バイセクシュアル・両性愛者
- Transgender トランスジェンダー・性別越境者
- X ジェンダー 心の性が男性でも女性でもない人
- ノンセクシュアル 恋愛感情を持っていても性的欲求を抱かない人
- パンセクシュアル 好きになる性が性別にとられない人

実際にはほかにも切り口があるのですが、ここまでにとどめておきます。



性について考えるときは次の3点で考えてみよう



少し整理しやすくなるはず！

◎性の考え方

・身体の性

いわゆる生物学的な性。性器、染色体を根拠とする

・心の性

自分がどんな性と考えるか。心が男性、女性、中性。性を持たない、持ちたくない人など

・好きになる性

誰かを好きになるのか、ならないのか

好きになるのであれば異性なのか、同性なのか、性別にとらわれないのか
また、恋愛感情とは別に性的欲求を伴うか

このようにいくつかの切り口を考えると、様々な性の多様性が見えてくるのではないのでしょうか。先ほど取り上げたもの以外にも、これらの要素を考えるとより多くのパターンがでてきそうです。



こうやって考えると、性のアイデンティティは一概に定義できなさそうなことがわかるよね



だからこそ、多様な性の価値観があることを理解し、お互いに尊重し合わないと……だね！

3.2 : SOGI ・ HBTQ



「性はグラデーション」って聞いたことがあるな～



男性、女性だけでなく、その他のアイデンティティも含めて、すべての人を分けることはできない。だからその「あいまいさ」をとってグラデーションって表現するんだ

そう考えるといわゆるセクシュアルマイノリティをLGBTとくくってしまうのもおかしな話ではないでしょうか。あまり深く考えると収集がつかなくなってしまうのでこれ以上は考えませんが、それくらい性は多様で、あいまいさを持っていていいものなのです。



これらを総称してSOGIとよばれることがあります

◎SOGI

「Sexual Orientation and Gender Identity (性指向と性のアイデンティティ)」の頭文字から取った言葉。

このような表現をすると単に人をマジョリティ、マイノリティで分けるのではなく、すべての人々の価値観を同じくくりでとらえられるのではないのでしょうか。

似たような観点から一部で HBTQ と定義する動きも出ています。それぞれ次のようになります。

◎HBTQ

- ・H：ホモセクシュアル 同性愛者
- ・B：バイセクシュアル 両性愛者
- ・T：トランスジェンダー 性的越境者
- ・Q：クエスチョニング

H はホモセクシュアルの略で、同性を好きになる人のことをさします。反対に自分とは異なる性を好きになる人のことをヘテロセクシュアルとよびます。

レズビアン、ゲイをひとくくりにする目的として H を使っていることには理由があります。そもそも、レズビアン、ゲイはそれぞれ前者は女性、後者は男性をさす言葉とされています。そのため、性の多様性といいながらも言葉で性を決めつけるのはよくない、という観点から総称してホモセクシュアルが用いられるようになりました。



Q ??

Q はクエスチョニングの略とされています。クエスチョニングとは、自分の性別がわからない人や意図的に決めていない人、決まっていない人、模索中である人のことを指します。

SOGI と同様に、LGBT よりも広い概念を表すために一部の国では LGBT ではなく HBTQ という言葉が広まっています。

3.3：セクシュアルマイノリティの現状



ここからはいわゆる「セクシュアルマイノリティ」について、その現状を考えてみましょう

電通ダイバーシティ・ラボの調査によると、LGBT とされる人々は日本に約 10%存在するといわれています。同じ研究機関が行ったわけではないので一概にはいえませんが、そのほかの国のセクシュアルマイノリティの割合は次のようになっています。

◎各国のセクシュアルマイノリティの割合

- ・日本：約 10.0%
- ・アメリカ：約 3.8%
- ・イギリス：約 2.0%
- ・フランス：約 7.0%
- ・オーストラリア：約 3.4%
- ・ドイツ：約 11.0%
- ・スペイン：約 14.0%

このように見ると「意外と多い」と思う方が多いのではないのでしょうか。

日本の場合、10人に1人は何かしらのセクシュアルマイノリティであるともいえるわけです。それほど性の多様性について考えることは身近なことであり、同時に知っておかなければならないことなのです。

世界的な傾向としてセクシュアルマイノリティの割合やいわゆる「カミングアウト」をする人は増えてきているとされています。これは少しずつ多様な性についての理解が深まってきたともいえるでしょう。

3.4：レポートへのアプローチ



解説が若干長くなってしまいましたが、それくらいセクシュアリティに関するトピックは深く、同時に身近なものなのです



じゃあ、大学のレポートを書く場合、どのようにアプローチが有効か考えてみよう

おすすめのアプローチ

- セクシュアルマイノリティの現状
- セクシュアリティを定義する言葉
- 多様な性に関する事件・歴史
- 多様な性に関するとりくみ

○セクシュアルマイノリティの現状



LGBT だけじゃない、セクシュアルマイノリティの現状ってどうなの？

基本的なアプローチとしてセクシュアリティの現状を調べてみましょう。冒頭でもあげたような日本での割合、諸外国での割合、また市町村単位や学校ごとのデータも見つかることがあります。

戦略的な話になりますが、レポートの中の数値的データは説得力が高いです。セクシュアリティに関するデータは比較的簡単に調べられるので、導入部分を中心に取り入れてみましょう。

○セクシュアリティを定義する言葉



言葉も差別、平等の影響で変化するんだ



性の観点から言葉を探ると結構いろいろな発見があったり……

あまり考えすぎると哲学の世界に入り込み、収集がつかなくなってしまうので冒頭では少なめにしましたが、セクシュアリティに関する言葉に注目するのもよいでしょう。

日本では LGBT、世界的に奨励されている SOGI、一部の国で広まっている HBTQ、といった大枠のとらえ方。そのほかにも、レズビアン、ゲイといった個々の事象にフォーカスしても議論できます。

また、英語や第二外国語など日本語とは違う言語での表記、各国での言葉の普及について考えてみてもよいでしょう。

○多様な性に関する事件・歴史



性の多様性が認識されたのは最近のこと



それまではどうだったのかな？

少しずつ多様な性についての理解が広まってきた現代でも、セクシュアルマイノリティに関する事件は起きています。そのような事件にフォーカスしてもよいでしょう。

また、セクシュアルマイノリティとされる人は多くの国で差別を受けてきた歴史があります。その具体的な内容は何だったのか、それを受けてどんな運動が起こったのか、その後どのように受け入れられたのかを歴史的に追うこともできます。

○多様な性に関するとりくみ



じゃあ今、どんな取り組みがあるのかな？？

LGBTを中心としたサークル、企業や学校での取り組み、教育などを通じて多様な性について理解する動きが広がっています。具体的に何がなされているのか、今後どのようになりそうかを調べてみましょう。

また、日本よりも多様な性に対する理解が進んでいるとされるヨーロッパでは、どのような取り組みがなされているのでしょうか。日本ではまだ一部の自治体中心でしか認められていない、同性婚にも大きな違いがあります。

4

労働



4：労働



働きたくない――



そんなこと言わないの！

でも、今から紹介することは真摯に受け止めてほしいなー

労働、と聞いてどんなイメージを持つでしょうか。長時間労働、ブラック企業、過労死……よくないイメージを持つ人も多いのではないのでしょうか。ここから紹介するものも実はあまりよいお話ではありません。でも、ぜひ知っておいてほしいことなのです。

4.1：働き方改革



これも最近よく聞く言葉だね。そもそも働き方改革って何なの？



かみ砕いて説明するとこんな感じかな～

◎働き方改革

好きな働き方を自分で選べるようにするための改革



「長時間労働の削減」とかが思い浮かびそうだけど、実は定義は単純
そのための課題として、

- ・ 長時間労働
- ・ 正規社員と非正規社員の格差
- ・ 労働力人口の不足

この3つがあげられるんだ

戦略的な話では、この「働き方改革の課題」に焦点を当てていけばレポートで「問い」と「答え」がたてやすくなります。



まずは、この3つの課題に注目して現状を見てみよう

4.1.1：長時間労働



日本の労働時間についてどう思う？

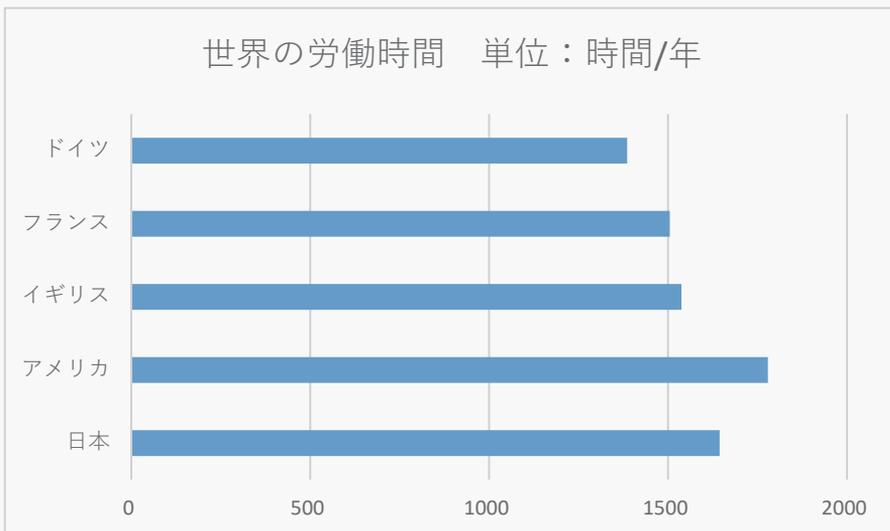


何となく残業大国、って感じがする



確かに多く見えるんだけど、国際比較してみると……実は突出して日本が多いわけでもないんだ。

世界の労働時間 単位：時間/年



(Global Note より作成)



長時間労働がいけないのであれば、長時間働かなければいいではないか……ではすまされないんだよね



働き方改革が始まってきているけど、いまだに大きな効果はあがっていないみたい。長時間労働の原因はこんな感じなんです

◎長時間労働の原因

- ・労働人口の減少や賃金上昇による人手不足
- ・管理職の長時間労働に対する意識の低さやマネジメント不足
- ・帰りにくい、残業が当たり前の雰囲気

この中で考察しがいがあるのは3番目、社内の雰囲気です。上司がまだ働いているのに、まだ帰れない。早く仕事が終わると別の仕事を振られるからあえてゆっくり作業する。そもそも残業は当たり前。そんな雰囲気が日本企業には未だに根強く残っているようです。

4.1.2：正規社員と非正規社員の格差



非正規社員っていうとアルバイト、パートのことだね！



このほかにも契約社員や派遣社員なんかも入ります。この非正規社員と正社員の格差が問題になってるんだ

非正規社員と正社員の賃金格差（内閣府より）



うげ、こんなに違うの？



しかも、この非正規社員は増えているんだ

非正規社員の人数と割合（内閣府より）



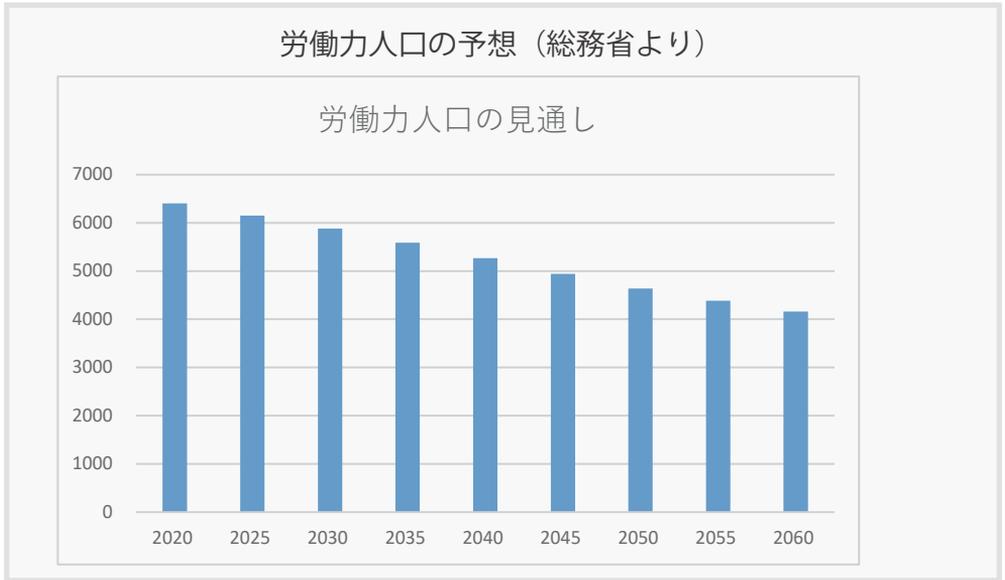
4.1.3：労働力人口の不足



少子高齢化で労働者が減る、税金も減る、ってことか



実際には人口の問題もあるけどコスパの悪さもあるんだろうね～



少子高齢化も相まって、労働力人口は減り続けています。これでは確かに生産性が落ちてしまい、必然的に年金など国民に還元される税も減ってしまいます。



ここで、ちょっとおもしろいデータを見てみよう！
いわゆる GDP の比較です

◎GDP

国内総生産。「もうけ」の額を数値化したもの。高いほどよい。

GDP のランキング (IMF より)

1	アメリカ
2	中国
3	日本
4	ドイツ
5	インド



日本優秀じゃん



そう思うでしょ。でもこれを人口一人当たりの GDP に直すと……

国民一人当たりの GDP (IMF より)

1	ルクセンブルク	7	アメリカ
2	スイス	8	シンガポール
3	アイルランド	9	カタール
4	マカオ	10	デンマーク
5	ノルウェー	25	日本
6	アイスランド		

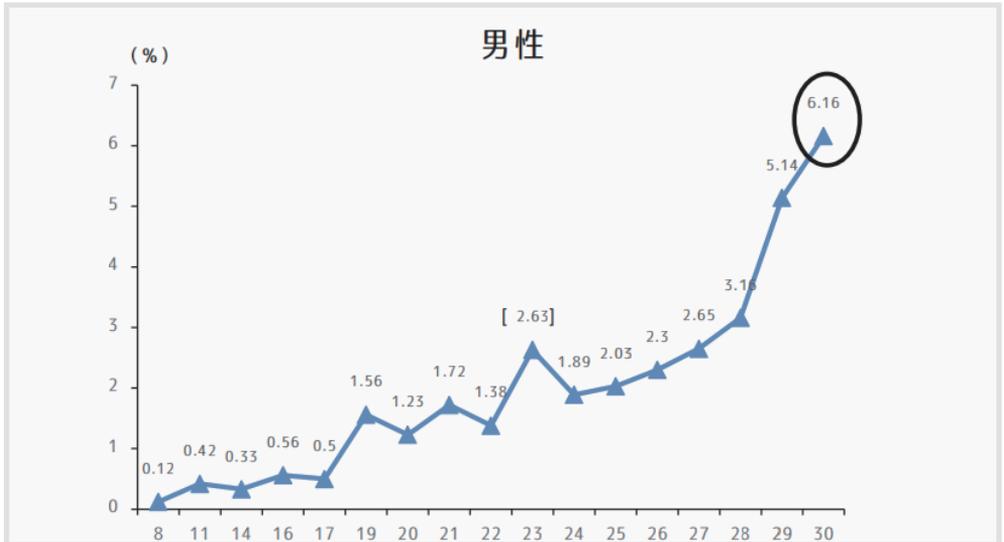
日本のコスパの悪さがわかってしまいます。

確かに労働力人口の確保も大切なのですが、上位の国の働き方を見習って、労働力人口が少なくても高いコストパフォーマンスを生み出す必要もあるのです。

4.2：育児と労働

育児と労働をどのように両立させるかも大きな課題になっています。まずは、よく見られるデータを見てみましょう。

日本人男性の育休取得率（厚生労働省より）



上がってきてるね！



バカーー！ メモリ見て！

このグラフも正しいんだけど印象操作感が否めない……

男性の育休取得率をはじめ、育児に関することにもたくさんの問題点があります。産休育休と職場復帰の観点から考えてみましょう。

4.2.1：産休と育休



まずは定義と制度の確認から！

◎産休

正式には産前・産後休暇という。産前休業は、出産予定日から6週間（42日）前から、産後休業は、出産翌日から8週間（56日）できる

◎育休

正式には育児休暇という。女性は産後8週間の産休の後、子どもが1歳の誕生日を迎える前日までの期間、男性の育児休業は、子どもが産まれた日から、子どもが1歳の誕生日を迎える前日までの期間休業できる



とりわけ育休に関して、この規定通りにとれている人は非常に少ないのが現状です

4.2.2：職場復帰



産休・育休をとれたとしても、実は問題が残ってるんだ

出産を機に退職してしまう、あるいは昇進が難しくなった、という女性の声が多くあります。また、男性も同様に育休をとったことで、職場での待遇が悪くなった、という声もあります。

一昔前に多かった女性の寿退社や男性の育休取得率の低さはこのようなところに原因があるのです。



この問題はジェンダーにも関わります

◎ジェンダーの格差

- ・女性の管理職が少ない
- ・女性の賃金が低い

これらの問題は「産休・育休」で女性がいなくなるから、社内育成をしても意味がないから、という背景がありました。男女問わず働きやすく、休みやすい環境を作っていないとこれらの問題は解決しないのです。

4.3：レポートへのアプローチ



労働って問題だらけ！



決して放置できる問題ではありません。でも、レポートを書くだけであれば書きやすい話題なのです

おすすめのアプローチ

- 労働問題を取り上げる
- 現状がわかるデータを用意する
- 諸外国と比較する
- 自分なりの解決策を提示する
- 自分のキャリアを考える

○労働問題を取り上げる



まずは何かの労働問題をメインピックにしよう

まずは労働問題を取り上げるのが基本的なアプローチになりそうです。冒頭の流れのように、働き方改革など現在の目標から問題を深掘りしていくとスマートに考察につながられます。後半で取り上げた産休・育休についても労働に関わる一大トピックです。いくつか観点を絞りながら労働問題にアプローチしましょう。

○現状がわかるデータを用意する



労働はデータの宝庫！

労働問題についてはデータが大量にあります。時間、日数、人数などの数値データはもちろん、働いている人の声なども一つの指針になります。レポートで重視される客観性を出すために各種データを使うことは非常に有効です。政府のデータなど信頼性の高いものも多いので、ぜひ探してみましょう。

○諸外国と比較する

解説でも何回か登場しましたが、各種データを諸外国のものと比較することも有効です。日本とはまったく違った文化、価値観を持っているので、その影響は労働にも大きく出ています。何が原因でその違いが生じているのかを考えるのもおもしろいでしょう。

○自分なりの解決策を提示する



解決策は文献がいないから案外楽かも……！



プレゼンでも有効だよ！

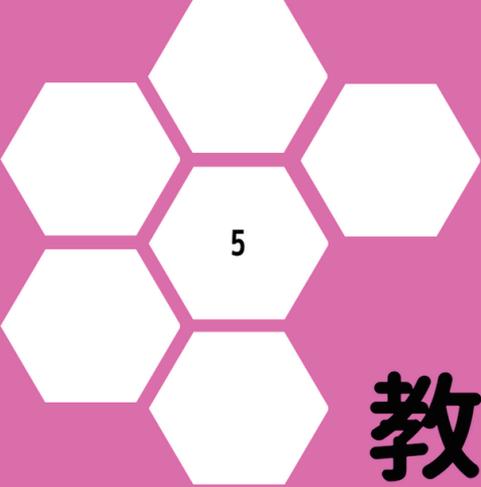
前章でもお伝えしたとおり、比較的自由に自分の意見を展開できる提案は、レポートの字数稼ぎには向いていることが多いです。もちろん、完全に客観性が求められる場合には提案は不適切ですが、問題分析と絡めて解決策を提示する方が全体の締まりがよくなることがあります。状況に応じて、合理的な解決策を考えましょう。

○自分のキャリアを考える



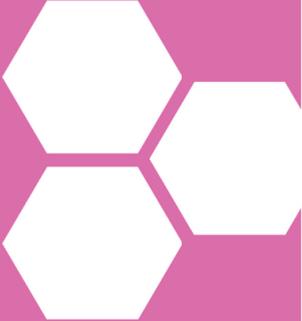
多様な働き方は最近のトレンドだね！

最近は大学の授業でも、自分のキャリアを考える授業が増えています。そのような場合はレポートに「どんな働き方がしたいか」を含められることがあります。自分のキャリアについての文章を入れる場合は問題点や解決策を参考にし、「なぜそう考えるか」が論理的に伝わるようにしましょう。



5

教 育



5：教育



小・中・高・大、専門学校、あとは幼稚園か



そうだね。それくらいが日本の教育かな。まずはこのあたりを見てみよう！

「教育学部」として1つの学部を構える大学もあるくらい、教育は学問分野として発達しています。それと同時にレポートでもよく扱われる内容でもあります。この電子書籍を読んでいる人の多くは大学生かと思いますが、今まで受けてきた教育をどう思いますか。あらためて分析してみると発見があるかもしれません。

5.1：日本の教育の現状



小学校、中学校で義務教育を受ける、そのあとは自由に選ぶ、これが今のところのスタンダードか



高校進学率は 98.8%、大学には 50%以上の人が進学しています

(文部科学省 令和元年度学校基本調査より)



このグラフを見ると、とりあえずの日本の教育の現状が見えてきそうです。高校までは比較的充実しているともいえるのでしょうか。これだけではなんとも判断でいないので、いくつかほかのデータを見てみましょう。

5.1.1：教育費・学費



小学校から大学まで、学費がいくらかかるか知っているかな？



えーっと、1000万くらいか？

小学校、中学校、高校までの学費（年額）は以下のようになっています。

	公立	私立
小学校	322,310円	1,528,237円
中学校	478,554円	1,326,933円
高等学校	450,862円	1,040,168円

（文部科学省 子どもの学習費調査平成28年度より）

始めて聞くと、想像以上に多いことに驚くのではないのでしょうか。ここでは詳しく触れませんが、食費、衣料品、習い事などを含めると、子ども一人を育てるのにはこれ以上のお金がかかります。



じゃあ、大学はどれくらいかかるかわかるかな？



大学って一番高いんだよね……



大学の学費は以下の通りです

	学費（4年分）
国公立文系	2,535,000円
国公立理系	2,520,000円
私立文系	3,605,000円
私立理系	4,676,000円

（「29年度 学費平均額」旺文社 教育情報センターより）

入学金、授業料など相当な額がかかります。また、大学進学を機に一人暮らしをする人もいるので、その分さらに上乗せされます。



私立と国公立で差がすごい……！



日本の大学進学率が低い背景にはこの学費の問題があるんだ

教育格差の要因の一つとしても取り上げられる学費、そう考えると大学教育は相当な贅沢品であることがわかつてと思います。

5.1.2：奨学金



返済ができない、とかよくない噂もきく奨学金だけど……

日本学生支援機構では、経済的理由から大学の学費を払えない人向けに無利子あるいは低金利で貸与しています。高校や大学での成績を元に選考がなされます。そして、貸与終了（＝卒業）の半年後から返済がはじまります。



そんな奨学金の利用率はこんな感じです

大学学部 47.5%

大学院修士課程 48.0%

大学院博士課程 53.5%

およそ半分の人が奨学金を利用して、大学院に行くほど利用率は高まっています。奨学金の返済を考慮して大学進学をしない選択肢をとる人も多いようです。

5.2：日本の教育現場の問題



学費などの経済面の問題とは別に教育現場の問題を考えてみよう



うーん、いじめとか？ うーんとほかにはこんな感じ？

◎日本の教育現場の問題

- ・不登校、いじめ
- ・学歴、学校歴社会
- ・一方通行の教育

5.2.1：不登校、いじめ



ニュースでもたびたび見かけるよね



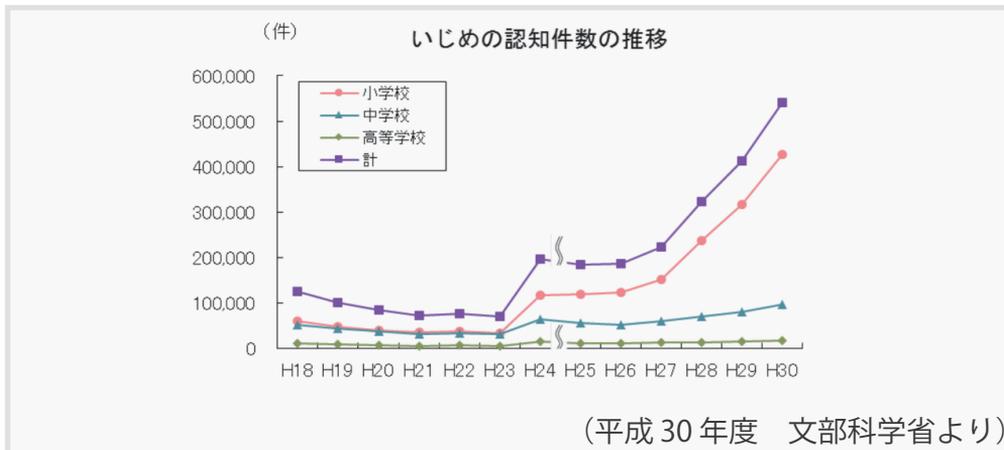
不登校、いじめは教員、保護者が一丸となって解決すべき問題なんです

日本の小中学校における不登校の割合は次のようになっています。



(平成30年度 文部科学省より)

続いて、いじめの現状は次のようになっています。



認知されていないいじめの事例を考えると、実際に起こっている件数はもっと多いことが考えられます。

5.2.2 学歴主義



勉強勉強、いい成績をとれ、それだけを言われてきたな……



この思想、時代に合わないことはわかっているのにいまだになくならないんだ。まずは勘違いの多い学歴という言葉を確認しておきましょう

◎学歴

小学校、中学校、高校、大学、どこまで行っていたか
「最終学歴」は高校卒、大学卒などと答える

◎学校歴

どの学校を出たか、ということ。一般にいわれる「学歴」は本来こちら

日本は典型的な学歴、学校歴社会となっています。よい大学に行ければ将来的にお金を稼げる、と一般的には思われがちです。就活の現場を中心に最初の専攻を学校歴で行う、というところも存在します。

そのために勉強する、いい大学に入るのも決して悪いことではありません。でも、なんだかむなしくならないでしょうか。実際のところ、いい大学に通っている人、偏差値が高い人が必ずしも仕事現場で成果を上げるとは限りません。一つの指標であることは間違いありませんが、学校歴だけで判断されてしまうことも少なくないのです。



この学校歴社会の風潮は次の項目にもつながってきます

5.2.3：一方通行の教育



教室に大勢入って、みんなで前を向いて授業を聞くってこと？



慣れてると当然なんだけど、これ結構問題になっています

学校歴社会の日本でどのように生き抜くか、そのために出された結論こそが一方通行型の授業ではないでしょうか。実際、児童生徒に考えさせるよりも一方通行で授業を詰め込んだ方が圧倒的に効率がよいのです。

でも、これからの時代、個性を伸ばして自分の能力に気付かせることが教育なのではないでしょうか。「つめこみ教育」なんて言葉を聞きますが、根本はこの授業スタイルにあるのかもしれない。

5.3：幼児教育



次は少し視点を変えて、幼児教育について考えてみましょう



教育よりも「預ける」イメージが強い気もするけど……

5.3.1：幼児教育の無償化



2019年10月から始まったものといえば？



消費税が上がった！

2019年10月から消費税が上がりましたが、それと同時に幼児教育の無償化もスタートしました。詳しくは次のようになっています。

◎認可保育園・幼稚園・認定こども園 保育料無償

◎認可外保育園 月額3万7000円までの補助

※送迎バス、給食費、保育園の延長料金などは対象外

多くの家庭での幼児教育の経済的負担が軽減されました。今後も少しずつ補助範囲が拡大するかもしれません。

5.3.2：待機児童問題



少子化なのにどうして待機児童が問題になるの？



まずは言葉の定義を確認しておきましょう

◎待機児童

保育施設への入所申請をされていて、入所条件を満たしているのに入所できない状態の子ども。単に「行きたくても行けない」ことを示すわけではない。



少子化が進行しているにもかかわらず、待機児童が取り上げられるのには、主に2つの背景があります

待機児童問題の背景

- 社会構造の変化
- 保育士の不足

○社会構造の変化



ジェンダーの項目とも少し関係があるのかな？



いい傾向だけど、待機児童の原因になっているんだ

男性が外で働き、女性が家で育児、といういわゆる性別役割分担の傾向は少しずつ薄れてきました。外で働く女性が増えたため、必然的に子どもを預かる保育のニーズが増えたのです。

また、生まれ育った土地を離れて都市部で核家族を形成する人が増えています。その結果、働いている間に祖父母に育児を任せることも難しくなっているのです。

○保育士の不足



保育士の仕事って膨大です。それでいて給料は低いと言われます

子どもが好き、という人ももちろん多いのですが、それ以上の激務を行っています。それでいてほかの職種と比べて給与は低め。そんな背景があつて保育士は慢性的に不足しています。

また、人間関係や幼児を預かるという責任の重さ、親の影響などもあり、ストレスのたまりやすい職種ともされます。一度保育施設に就職したものの、すぐにやめてしまったという人も多くいます。

5.4：レポートのアプローチ



時代の変化によって少しずつ教育も変わっているんだね



この観点に着目するといいレポートが書けるかも！

おすすめのアプローチ

- 経済面から見た教育
- 教育方法や課題
- 幼児教育
- 生涯教育、リカレント教育
- 諸外国との比較

○経済面から見た教育



「世の中カネ」の傾向が教育は強くあるのかも……

学費や奨学金、子どもを独り立ちさせるまでの費用など、お金の絞ると具体的な数値データを示しながら説明できます。関連して、低所得者のための補助制度もわかりにくいだけでかなり多く存在します。制度面も確認しながら課題解決に向けての道筋を示すのもよいでしょう。

○教育方法や課題



教員を目指すなら考えてほしいトピックです！

俯瞰的に現状の教育の問題点は何かを考えてみると、これからの教育がどうあるべきなのかが見えてきます。問題点だけでなく、どうしたら効率よく勉強できるか、などを考えるのもおもしろいかもしれません。

○幼児教育



待機児童がメインのトピックに

解説でも取り上げた待機児童が幼児教育における現在の課題です。待機児童問題を深掘りしていくと様々な社会問題に結びつきます。「教育方法や課題」にも関連して、これからの時代どのように幼児の個性を伸ばすべきかに注目して考えることもできます。

○生涯教育・リカレント教育



日本だとあんまり聞かないよね……

解説では触れませんでしたでしたが、大人になってからの教育もおもしろいトピックです。日本ではまだまだなじみのない言葉ですが、これから多くなっていく可能性は高いです。先進的な取り組みや諸外国との比較を取り入れて調べてみましょう。

○諸外国との比較



毎回恒例の方法だね！

世の中には学校に行きたくても行けない子ども、男女で教育格差がある地域などが多くあります。それらの国と比較すると日本は恵まれていることがよくわかります。

一方、待機児童ゼロ、大学進学率も高い、学費免除など日本がお手本にすべきような国も存在します。いい意味でも悪い意味でも日本の教育は中間にあるともいえます。比較の視点を取り入れると現状がよく見えるので、まずは Google 検索から調べてみましょう。



6

日本文化



6：日本文化



日本の文化の特徴って知れば知るほどおもしろい！



ほかの国と何が違うかを見ると、その特異性に気づけるかも

日本文化に関するトピックは、親しみやすいものが多いのではないのでしょうか。外国と比べたときの日本文化の特性、年中行事、伝統芸能、いわゆるサブカルチャーまで、多くの文化があります。単に日本文化だけではなかなか範囲が広いので、実際にレポートを書くときには書きやすいものに絞って考えましょう。



まずは「文化相対主義」を押さえておこう

◎文化相対主義

すべての文化は対等であり、優劣をつけるべきでない、という考え方

今までレポートでは比較が有効なことをお伝えしました。しかし、文化が絡むトピックではこの比較がナンセンスとされることがあります。なんとなく、「〇〇地域の文化は△△のものよりも優れている」と考えてしまいがちです。この考え方は人類学の世界では批判的に見られることがあります。ここからも中立的な視線で日本文化をとらえて解説します。

お断りなのですが、文化に関わる項目は客観的に見てわかるデータが見つかりにくい分野です。そのため、この解説もなんとなくふわふわしたものになっています。実際にレポートを書く場合は参考程度にとどめてください。

6.1：日本文化と自然



日本文化は「自然とともにある」のが特徴かな！



自然っていわれても、具体的にどういうこと？ 何が自然なの？



例えば、庭園なんかがいい例だね。日本は自然との調和、ヨーロッパでは自然のコントロールに価値を見いだしている



いわれてみれば、そうかも？



ほかには建築なんかもそう。木造建築で外との接点を多く持っていて、部屋も広い和室があるなど開放的な印象が強いと思う。対してヨーロッパ文化ではレンガなどを使って自然と住居とを区別しようとするんだ



この観点で比較していくと、結構いろいろな特徴が見えてきそうだね

日本文化の特徴が何かと問われたら、一番の特徴は自然と共存することといえるでしょう。古来より大自然の中で生活してきた人々は、自然の恵みを受け、ときにその脅威におびえ、共存してきました。大きな木（神木など）や変わった形の岩などに神が宿っていると考えるアニミズム信仰とも共通するところがあるかもしれません。



ここで、宗教とも絡めて考えてみよう！

6.2：日本文化と宗教



日本の宗教……メインは神道と仏教かな？



ひとまずはその通りだよ。日本には何となくいろいろな文化を取捨選択してきた歴史があるんだよ



確かに。お正月には神社で初詣、お盆には仏教観に基づいて先祖が帰ってきて、キリストの生誕であるクリスマスを祝う。何かちぐはぐした感じがあるよね



外国人から見たらちぐはぐな宗教観は、ひょっとしたら昔からあったのかも

先ほどもお伝えしたとおり、古の日本では様々なものにカミを見いだす信仰が盛んでした。その後、6世紀に仏教が伝来します。国家の主導で寺院が建設されたのです。このとき日本には神道と仏教の2つが存在したのです。しかし、日本人は少し都合のよい解釈を行ったのです。それが神仏習合です。

◎神仏習合

日本古来の神と外来の宗教である仏教を結びつけた信仰のこと

神仏習合にはいくつか説や逸話があり、詳しい経緯はわかりません。少なくとも、日本人は違う宗教を完全に受容してしまったのです。



キリスト教の神とイスラム教の神はそれぞれ何人いるかな？



イエスとアッラーだから1人ずつか。ん？ 日本に神って何人いるの？



そう。日本には神がたくさんいて、それがいろいろなものを受容してきた背景になっているのかも……

キリスト教やイスラム教は厳格な一神教です。ただ1人の神を絶対視するため、排他的な考えが強く表れます。ヨーロッパで宗教戦争が頻発するのも、このような背景が一つの要因と考えられます。

一方、仏教も神道も神が複数いる多神教に分類されます。さらに、習合で二つの宗教の神、仏が曖昧に考えられてもいたので、ますます排他的な考えが薄くなるのです。

直接的な証拠があるわけではありませんが、お盆に正月にクリスマスという日本のちぐはぐな宗教観は、ほかのものを受容し取捨選択する背景があったとも考えられるのです。



明治時代、西洋文化が入ってきても完全に西洋とは同化しなかったのもその背景がありそう



日本らしい「空気を読む」「察する」国民性、他者との調和、心地よい距離感を保つ思想が根底にあったり

6.3：レポートへのアプローチ

客観的なデータを示しにくいいため、全体的な解説はここまでにとどめます。ここからはいくつかの切り口をあげるなので、興味のあるものを調べてみてください。ここから紹介するものも、先ほど解説した価値観が根底にある場合が多くあります。議論をする場合には、それぞれの事象だけでなく、背景にある思想とも絡めて考えてみましょう。

おすすめのアプローチ

- 日本の文化観
- 日本の年中行事
- 伝統芸能
- サブカルチャー
- インタビュー調査

○日本の文化観



これをもとに個々の特徴を取り上げていくとおもしろいかも！

先ほど紹介してきたような日本人の文化観は考えるほどおもしろい分野です。具体例で触れたのは庭園や建築、国民性だけでしたが、それらをもっと調べてみましょう。

多くの場合、背景に自然や調和といった日本の文化観が表れているはずです。それをヨーロッパなどと比べてみるとさらに違いがはっきりとわかります。文化相対主義の観点から中立的に何が違うかを考察してみましょう。

○日本の年中行事



ひな祭りに七夕、お盆に除夜の鐘とかだよ



針供養、松迎えみたいな聞きなじみのないものもあれば、潮干狩りも実は年中行事に数えられるんだ

ここでは一覧を紹介することはしませんが、古来から行われてきた年中行事もおもしろいです。俳句の季語を調べるときに使う歳時記が役立ちます。歳時記を調べると、その季節に関わる用語や行事の内容がわかるので、調べる指針にもなるのです。



年中行事を調べるときは季節はもちろん、宗教や民間信仰とも合わせて調べてみよう

○伝統芸能



能とか狂言とか歌舞伎とか



茶道、華道とかの芸道はもちろん、陶芸や和歌もおもしろい！

個々の伝統芸能に絞ってアプローチします。何か1つに絞って、その歴史や現在の状況を考えるとよいでしょう。本やインターネットの資料だけでなく、実際にその道で活躍する人の声を聞いてもおもしろいかもしれません。

○サブカルチャー



僕たちもサブカルチャー？

◎サブカルチャー、サブカル

教養を必要とする文化の下位に位置づけられる文化、とされることもあるが、その定義はあいまい



日本だとアニメや漫画、いわゆるオタク文化って感じだよ

一昔前よりもいわゆるサブカルはずっと盛んになりました。そんなサブカルも今や一つの学問分野として確立しつつあります。その歴史や現在の状況を調べるのもおもしろいですし、サブカルは日本が海外に誇る文化でもあります。そのため、経済の観点からのアプローチも可能です。

○インタビュー調査

文化が絡む社会学、人類学はフィールドワークやインタビュー調査を基盤にすることがよくあります。文化に関することは数値化が難しいこともあり、インタビューなどをしたほうが濃い内容になることも多いです。

もし、留学生が身近にいるのであればぜひ日本文化についてのあれこれを聞いてみましょう。きっと、ずっと日本で過ごしてきた人とは違う感性を持っているはずですよ。

私の留学生の友人にも日本のアニメ、漫画が大好きで日本語を勉強した人、寺社仏閣が好きで京都に入り浸っていた人、本当におもしろい人がいます。ぜひ身近な人をお願いして、インタビューを取り入れましょう。

第5章

参考文献 と 引用

CONTENTS---

- ・ 参考文献の書き方
- ・ 英語・ヨーロッパ系言語の参考文献の書き方
- ・ 脚注の書き方
- ・ 参考文献を早く書く方法
- ・ 引用の方法



「レポートの末尾に参考文献リストを書くこと」か。面倒だなー



どうしたの？ レポート書き始めるところ？



いや、そうなんだけど参考文献って面倒だなーって思って
指示にこう書かれたら文献つけるしかないよね……



確かに。でも、参考文献ってとっても大切だよ！
卒業論文では絶対に使うんだから早めに慣れておかないと



そうかー。とりあえず適当にネットで……ああ、このURL 貼ってお
けばいいか



ちょっと待って！！ まさか、URL 貼るだけでおしまいじゃないよ
ね？



あれ、問題アリだった？



うーん、ちょっと参考文献、ついでに引用についてもいろいろ勉強
してからのほうがよさそうだね

ここからは、レポートや論文では必須になる参考文献を中心に解説します。レポートの末尾にちよろっとつけるだけの参考文献ですが、実はこの項目、非常に重要です。

私の経験談なのですが、以前内容が意味不明のレポートを出されたことがありました。とりあえず参考文献もつけて、自分でも意味不明の文章を提出したのです。するとオンライン上で先生がフィードバックをつけて返してくれました。

「参考文献の表記は確実に」

そんなコメントともに 80 点と書かれて返ってきました。先生が私のつたないレポートをどれくらいしっかり読んだのかは謎です。でも、ここらわかるのは、参考文献の表記さえきちんとしていれば限りなく満点に近い点がとれたことです。

すべてに当てはまるかはわかりませんが、学部の一般教養を中心に参考文献の表記方法はレポートの点数を決めてしまう可能性があります。

参考文献のためだけにこれだけのページを消費するのはオーバーな気もしますが、それくらい参考文献は大切だと私は考えています。

◎この章で扱うこと：参考文献と引用

- ・ 参考文献の書き方
- ・ 英語、ヨーロッパ系言語の参考文献の書き方
- ・ 脚注の書き方
- ・ 参考文献を早く書く方法
- ・ 引用の方法

1

参考文献の書き方

1：参考文献の書き方

「文末には参考文献リストをつけること」

こんな文面がレポートの指示の末尾に書かれていることが多いかと思います。大学で提出するレポートは基本的にはすべて参考文献が必要です。最初は苦勞することも多い参考文献、ぜひ書き方やコツをマスターしましょう。

1.1：参考文献とは



参考文献って何？ 書かなきゃいけないの？



基本的には大学のレポートでは、すべて参考文献が必要だよ！

参考文献は書いたレポートがどのような文献に基づいて書かれたものなのか、また、その追跡をするために書きます。自分の意見をサポートするために他者の文献の情報を組み合わせながら書けるとベストです。

もし、1つも参考文献を表記せずにレポートを作成した場合、どうなるのでしょうか。場合によりますが、「このレポートの中の主張や議論はすべてあなたの想像ですか？」と言われても文句は言えないわけです。

このような理由で自分のレポートの主張や議論を手助けし、説得力を持たせるために参考文献が必要になります。

また、参考文献の表記がレポートの点数を決める可能性すらあります。内容が立派でも正しく文献が表記されていないだけで大幅な減点を受ける可能性があるなので、注意しましょう。

1.2：参考文献の書き方



参考文献ってどうやって書くの？



実は参考文献の書き方はいくつか種類があります

厳しいように思われる参考文献の表記法ですが、実は学問分野や先生の方針によって表記方法にぶれがあります。具体的には順番や各情報の区切り方などです。ここから紹介する方法はその一例で、この通りに書けば基本的に減点されることはありません。卒論の執筆などで先生の指導を受けた場合はその方法に従いましょう。

ここでは「, (カンマ)」で区切って、最後に「. (ピリオド)」を打つ、という方法で表記しています。これは、各項目の区切りと文献の終わりをわかりやすくするためです。

それでは具体的に文献をとりあげて表記方法を紹介します。文献の種類によって必要な情報が異なるので、それぞれに合わせた表記をしましょう。紹介する種類は以下の通りです。

- ・ 本・書籍
- ・ 論文
- ・ インターネット記事
- ・ 統計調査
- ・ 新聞

1.2.1：本・書籍の表記方法

参考文献の基本になる本で必要な情報は以下の通りです。

- ・ 著者または編者
- ・ 『本のタイトル』
- ・ 出版社
- ・ 出版年
- ・ ページ数（引用の場合）

これらの情報を順番に「,」カンマで区切りながら書き、最後に「.」ピリオドをうちます。

これらの要素を使って表記すると次のようになります。

著者（編者名, 編）, 『本のタイトル』, 出版社, 出版年, ○-○頁.

注意点は以下の通りです。

- ・ 本のタイトルには『二重カギ括弧』を使う
- ・ 編者がある場合は編者名のあとに「, 編」を追加する
- ・ 引用した場合はページを表記する。引用ではない場合はページは不要
- ・ 「, (カンマ)」のあとに半角スペースを入れると見栄えがよくなる

1.2.2：論文の表記

論文を参照する場合は本、書籍とは異なる表記が必要になります。必要な情報は以下の通りです。

- ・ 著者
- ・ 「論文のタイトル」
- ・ 『論文が掲載されている雑誌・論集のタイトル』
- ・ 編者の名前（論集の場合）
- ・ 巻号
- ・ 出版社、出版年（論集の場合）
- ・ ページ

本・書籍に比べてやや複雑です。少し整理しましょう。

論文は通常それ単体で存在するのではなく、雑誌や論集に複数の論文とともにまとめて掲載されます。そのため、その母体である雑誌や論集が何かを表記し、その中の何ページから何ページが該当する論文かを表記しなければなりません。

また、論集の場合は巻号が振られるので、その巻号を示すとともに編者や出版社、出版年を表記します。表記する論文の母体となっている雑誌や論集も参照して書誌情報を埋めましょう。

まずは比較的単純な雑誌に掲載される論文の表記方法です。

◎雑誌に掲載される論文の参考文献の表記

著者, 「論文のタイトル」, 『論文が掲載されている雑誌のタイトル』, 巻号, ○-○頁.

次に論集の場合です。どちらかといえばこのケースが多いです。

◎論集に掲載される論文の参考文献の表記

著者,「論文のタイトル」,編者,編,

『論文が掲載されている論集のタイトル』, 巻号,出版社,出版年,○-○頁.

注意点は以下の通りです。

- ・論文のタイトルは「かぎカッコ」で表記する
- ・論文が掲載される母体の雑誌や論集は『二重かぎカッコ』で表記する
- ・本、書籍とは異なり引用でなくてもページを表記する
- ・引用の場合は別途該当ページを表記する

1.2.3：インターネット記事

学部生の一般教養のレポートではどちらかというインターネット上の記事を使うことが多いかと思います。信頼性を吟味した上で、適切な表記をしましょう。必要な情報は以下の通りです。

- ・執筆者（組織名）
- ・記事のタイトル
- ・記事の発行年
- ・<URL>
- ・閲覧日

インターネットの記事の情報を URL だけですませる人が多いのですが、それは御法度です。正しい表記を心がけましょう。

具体的に表記すると以下ようになります。

執筆者(組織名),「記事のタイトル」,記事の発行年,<URL>, (○月 × 日閲覧).

注意点は以下の通りです。

- 記事のタイトルは「かぎかっこ」で表記する
- URL は分かりやすいように <> で囲う
- ネットの情報は日々更新されるため、閲覧日を表記する
- 組織名や発行年など、分からない情報がある場合は「執筆者不明」、
「発行年不明」と表記する

1.2.4：統計調査（e-Stat）

信頼性の高い統計調査である国勢調査をはじめとした政府の資料の引用は e-Stat のホームページに表記の例が示されています。ページをどのようにたどったかが分かるように示す必要があるようです。

必要な情報は以下の通りです。

- ・「政府統計の総合窓口（e-Stat）」の文言
- ・たどったページ
- ・調査名
- ・実施機関
- ・「調査項目」

これらの情報を次のように表記します。

「政府統計の総合窓口 (e-Stat)」、調査項目を調べる－調査名, 実施機関「調査項目」

政府のホームページには上記のように表記する例があげられています
が、今までの文献の表記法と同様に

実施機関, 「調査項目」, 調査名, 公開日, (ウェブサイトの場合は閲覧日) .

このように表記しても問題ないと思われれます。

1.2.5：新聞記事（電子含む）

実際の新聞、データベースの記事を参考文献として用いることも多いか
と思います。必要な情報、書き方は論文のものと似ています。

必要な情報は以下の通りです。

- ・ 著者（分かる場合のみ）
- ・ 「記事のタイトル」
- ・ 『新聞名』
- ・ 発行日
- ・ 刊や版（朝刊か夕刊かなど）
- ・ ページ数

これらの情報を次のように表記します。

著者, 「記事のタイトル」, 『新聞名』, 発行日, 朝刊（または夕刊）, ○頁 .

電子版の新聞記事を利用した場合はインターネット記事の書き方になら
って URL や閲覧日を記入します。

著者, 「記事のタイトル」, 『新聞名』, 発行日, 朝刊（または夕刊）, ○頁, 電子版,
<URL>, (○○○○年○月 × 日閲覧) .

また、データベースの場合はデータベース名と閲覧日を記入します。

著者, 「記事のタイトル」, 『新聞名』, 発行日, 朝刊（または夕刊）, ○頁, 電子版,
データベース名, (○○○○年○月 × 日閲覧) .

2

英語・ヨーロッパ系言語 の 参考文献の書き方

2：英語・ヨーロッパ系言語の参考文献の書き方



日本語文献の書き方はだいたい OK！



じゃあ次は英語だね！ ちょっと複雑だけど頑張ろう！

2.1：英語・ヨーロッパ系言語の本・書籍の参考文献の書き方

英語などヨーロッパ系のアルファベットの言語の書籍の場合、必要な情報は以下の通りです。

- 著者（編者名＋編集の外国語）
- 本のタイトル（イタリック）
- サブタイトル（ある場合はタイトルのあとに「：」で続ける）
- 出版地
- 出版年

引用の場合

- ページ

この要素を使って表記すると次のようになります。

- 英語の本、書籍の参考文献の表記

著者（編者，ed.），本のタイトル（イタリック），出版地，出版年，pp.○-○.

具体的に書籍を使って表記すると次のようになります。

Neil Kent, *A Concise History of Sweden*, Cambridge, 2008, p.84.



複雑すぎてよくわからん笑



少し細かく見てみよう

○著者（編者名+編集の外国語）

まずは著者名、編者名です。いずれも人の名前を文献として表記するときは「姓→名」の順に表記します。

著者名か編者名か、その人数が1人か2人以上かで表記が異なります。ここでは便宜上4つのパターンに分けて解説しますが、当てはまらない場合はそれぞれを組み合わせ対応してください。

・著者1人のみ

著者1人の場合はまったく問題ありません。素直に名前を表記すれば終了です。

・編者1人のみ

編者が1人のみの場合は編者名のあとに「～編」にあたる言葉を書籍の言語で表記します。英語であれば「,ed.」をフランス語であれば「,dir.」を加えます。

「,ed.」や「,dir.」は略語です。そのため、「ed」や「dir」のあとには「. (ピリオド)」を挿入して、略称であることがわかるようにします。

- ・ 著者 2 人以上

著者が 2 人以上いる場合は「, (カンマ)」や書籍の言語の「and」に相当する単語を使って表記します。例を示すと、

Name A, Name B, Name C, and, Name D

このように実際に文章を書くときのルールと同様、最後の 1 つ手前に「and」に相当する単語を入れて表記します。

- ・ 編者 2 人以上

編者が 2 人以上いる場合も同様です。編者に該当する単語（「,ed.」など）を加えながら「, (カンマ)」でつなぎ、最後の 1 つ手前に「and」に相当する単語を入れます。

Name A, ed., Name B, ed., and, Name C, ed.

具体的にはこのようになります。著者と編者が複合する場合はこれらを組み合わせて表記してください。



これでやっと著者の項目が終わり



まだまだ先は長い……

○本のタイトル・サブタイトル

著者や編者の次には書籍のタイトル、サブタイトルを記入します。タイトル、サブタイトルはいずれもイタリックで表記します。サブタイトルがある場合はタイトルのあとに「:(コロン)」をうち、そのあとに続けます。

Title of Book: Subtitle of Book

Title of book: Subtitle of book



実は書籍のタイトルの表記方法に議論があるんだ

各単語の最初の文字を大文字にするか、タイトルやサブタイトルの最初の1文字のみを大文字にするかです。基本的にはどちらでもよいように感じますが、指示がある場合はそれに従ってください。

なお、各単語を大文字にする場合でも「of」などの助詞や「a」などの冠詞は大文字にしません。ただし、タイトルやサブタイトルの最初が助詞や冠詞の場合は大文字表記になります。タイトルがすべて大文字の本でも、表記するときは文頭だけ、あるいは各単語の1文字目だけを大文字にします。

○出版地

続いて書籍が出版された場所を表記します。日本語の文献の場合は出版社を表記しますが、外国語文献の場合は出版地が必要になります。出版社の表記は任意ですが、書く場合は出版地に続けて表記します。

出版地は、出版社をグーグルマップで検索すると場所が表示されるので、その場所を記入します。印刷所ではなく、出版社の地名を書くので間違えないようにしましょう。

○出版年

出版年は問題ありませんね。西暦で表記すれば終了です。

○ページ（引用の場合）

引用の場合はページの表記が必要になります。書籍の言語の「page」に該当する言語の頭文字+「.（ピリオド）」でページを続けます。英語の場合は「p.」を使い、複数ページを表記する場合は「pp.」を使います。

言語によって異なりますが、例えばドイツ語などは複数ページであっても「S.」と表記します。

p.30

pp.40-45

S.7

複数ページにわたる場合は「-（ハイフン）」を使って表記します。



これで英語の書籍の表記方法はおしまい！



日本語と大きく違うところは出版地の表記だね！

2.2：英語・ヨーロッパ系言語の論文の参考文献の書き方



次は英語の論文の表記方法だよ。本以上に複雑だから心して挑むように……！



……がんばる！

書籍の表記とは微妙に異なるので、注意しましょう。必要な情報は以下の通りです。

- 著者
- “論文のタイトル”
- 該当論文が所収されている雑誌や論集のタイトル、編者名
- 巻号
- 出版社と出版年（論集の場合）
- ページ

これらの要素を使って表記すると

英語の論文の参考文献の表記

著者，“論文のタイトル”，該当論文が所収されている雑誌や論集のタイトル，編者名，ed.，巻号，出版社，出版年，ページ．

となり、具体的に論文を使って表記すると、

Michael Karlsson, Annika Bergström, Christer Clerwall, Karin Fast,
“ Participatory journalism – the (r)evolution that wasn’ t. Content and
user behavior in Sweden 2007-2013” , *Journal of Computer-Mediated
Communication*, Volume 20 Issue 3, pp.295-311.



??? またしても意味不明



いくつか場合分けがあるのがややこしい。また詳しく見てみよう

○著者

まずは著者です。書籍と同様に「姓→名」の順に表記します。

○”論文のタイトル”

続いて論文のタイトルです。書籍との違いはタイトルを「””（ダブルクォーテーション）」でくることです。



ここまでは大丈夫だね！

○該当論文が所収されている雑誌や論集のタイトル、編者名

論文は何らかの雑誌や論集として、いくつかの論文とまとめて発表されます。そのため、該当論文が所収されている雑誌や論集のタイトルと編者名が必要になります。

雑誌名や論集名は「” (ダブルクォーテーション)」はつけずにイタリックで表記し、編者名は書籍同様に (イタリックにはしない) 「～編」にあたる単語をつけて表記します。

ややこしいので、論文と論集、編者の3つを並べて示します。

" 論文のタイトル" , 論集のタイトル (イタリック) , 編者名 , ed.

" Title of Paper" , *Title of Papers Collection* , Name A, ed.

○巻号

多くの論集やタイトルは巻号が振られています。英語の場合は「Volume」と「Issue」を使って表記します。その他の言語の場合はそれに相当する単語を使います。

○出版社と出版年 (論集の場合)

書籍の場合は出版地を表記しましたが、出版社が発行している論集の場合は出版社名、出版年を表記します。

○ページ

先ほどもお伝えしたように、論文は雑誌や論集に収められる形で発行されます。そのため、該当する論文が論集の何ページにあるのかを表記しなければなりません。

書籍のページの表記にならって、英語の場合は「p.」や「pp.」などで表記しましょう。

2.3：インターネット上の英語・ヨーロッパ系言語の文献の書き方



最後はインターネット上の文献の書き方だよ



今までの書籍や論文に比べると若干楽かな～

インターネット上の文献を表記する場合、必要な情報は以下の通りになります。インターネット上の情報では執筆者などすべてがそろわないことも多いです。分かった情報のみを表記し、見つからなかったものは省略してください。

- ・ 執筆者名
- ・ " ページのタイトル"
- ・ サイト名
- ・ 組織名
- ・ URL
- ・ 閲覧日

これらの要素を使って表記すると次のようになります。

英語のインターネット記事の参考文献の表記

執筆者名, " ページのタイトル", サイト名, 組織名, URL, 閲覧日 .

具体的に表記すると

"The Great American Recovery: Third Quarter GDP Blows Past Expectations", The White House, ,The White House,
<https://www.whitehouse.gov/articles/great-american-recovery-third-quarter-gdp-blows-past-expectations/>, 18 Jan 2021.

この例では、執筆者が不明なため省略、サイト名と組織名が同じホワイトハウスなので、2回同じものを続けて書いています。タイトルは「” (ダブルクォーテーション)」でくくります。

閲覧日は「日にち→月→西暦」の順で表記します。例えば 2021 年 1 月 18 日であれば「18 Jan 2021」のようになります。書籍や論文の場合と比べてややこしいところは少ないかと思えます。



英語の書き方も覚えて……これで一通りの文献の表記は OK かな！



お疲れ様でした。とりあえずこれで文献の書き方で減点されることはなくなるはずだね

慣れるまでは大変だから、普段から意識的に使ってみよう



3

脚注の書き方



3：脚注

参考文献リストをレポートに表記することはよくありますが、場合によっては脚注をレポート内に埋め込むこともあります。前項目で解説した参考文献の知識をそのまま利用して脚注の使い方もマスターしましょう。

3.1：脚注とは



脚注って何なの？



脚注は用紙の下で補足や文献情報を述べるものだね！

脚注はその言葉の通り、用紙の下で用語の説明や文献情報を補足的に述べた注釈のことです。卒業論文などほかの文献で説明されていることを明確に示したいときに使用します。

学問分野によって文献をどのように表記するかが異なり、脚注は主に歴史学で多用されます。日本史の教科書を振り返っても補足的に脚注が多かったことを覚えている方もいるのではないのでしょうか。

学部生の一般教養のレポートであれば、指示がない限りは脚注を使って補足説明や文献を表示しても問題ありません。必要に応じて使ってみましょう。

3.2：脚注の種類



脚注はその使い方によって2つに分かれます。説明注と出典・引用注です

3.2.1：説明注とは

説明注は文章内に出てきた用語を補足説明するものです。人物や事件、そのほか初見ではわかりにくいものにつけられます。

説明したい単語のあとに番号をふり、脚注で「○○とは」から書き出してその単語の補足を加えます。

3.2.2：出典・引用注とは

出典・引用注は自分が書いた文章に、参考にした文献の書誌情報を記載するものです。レポートの文章がどの文献を参考にしたのか、根拠を持たせるとともに追跡できるようにする役割も持っています。

日本語で文章を書いているときに外国語の文章を参考にした場合も出典注を用います。

出典・引用注は引用した文章のあとに番号をふり、どの文献から引用をしたかを表記します。基本的にはこちらの出典・引用注がレポートや論文ではメインになります。

3.3：Word を使った脚注の書き方



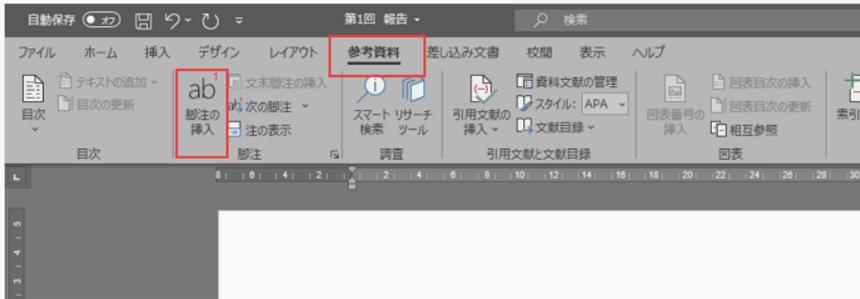
脚注ってページの下に線が引いてあるね……どうやって書くんだろ
う



多くの人を使う Word を例にとって脚注の書き方を学びましょう

Word には脚注の機能がついています。脚注の番号を振りたい単語の一番最後の文字にカーソルをおいて上部ツールバーから

参考資料 >> 脚注の挿入



ここから脚注を挿入します。

自動的にページ下部に線が引かれ、対応した番号のあとに文章を続けます。ページの切り替わったり、途中の脚注を削除したりしても自動的に脚注の位置や番号は調整されます。

脚注にはショートカットキーがあります。時短のためにもぜひ覚えておきましょう。

◎脚注

- Ctrl+Alt+F
- command+option+F

3.3.1：説明注の書き方

まずは説明したい単語のすぐ後ろを選択し脚注を挿入します。ページ下では「○○とは、△△(補足説明) である。」と表記します。実際に Word で書くと次のようになります。

太平洋戦争後の日本では 55 年体制¹が強固なものとなり、のちの高度経済成長²に結びついた。←

¹ 55 年体制とは、自由民主党が与党第 1 党となり、野党第 1 党を日本社会党が占めていた体制のことである。1955 年に成立したためこう呼ばれる。←

² 高度経済成長とは、戦後 1955 年から約 20 年にわたって経済成長率が実質 10%前後で高い水準で成長した現象のことである。←

基本的に説明注は辞書的な説明を加えるだけで問題ありません。

3.3.2：出典・引用注の書き方

基本的には出典・引用注は文章のあとに挿入します。その文章の参照減はどこかを示すため、文献の書誌情報を続けます。

実際に記入すると次のようになります。

19 世紀前半には貧富の差が大きくなった。こうした状況を受けて社会全体の幸福のための思想と運動から社会主義がおこった。³マルクスは『資本論』において社会主義社会について文責をし、のちの社会に大きな影響を与えたとされている。←

³ 大阪大学歴史教育出版会、『市民のための世界史』、大阪大学出版会、2014、173 頁。←

3.4：2 回目に出てきた文献の表記方法



同じレポートの中で何回か同じ文献を使うんだけど繰り返すの？



2 回目に同じ文献を表示する場合は「同上」と「前掲書」を使います

同じレポートの中で、何回か同じ文献を使う場合があるかと思います。卒業論文レベルでは 500 文字ごとくらいに何かしらの文献情報を提示することも求められます。

そのため、同じ文献でも何度も表記することが多くなります。2 回目以降に同じ文献を脚注で表記する場合は、今までの脚注の状態によって次のように分かります。

- すぐ上に（ページをまたいでいても同様）同じ文献がある場合
→「同上」を使う
- 間に別の文献を挟んで 2 回目の文献を表示する場合
→「前掲書」を使う
- 同じ著者の文献が複数出てきて、同上でも前掲書でも書けない場合
→著者名と文献を簡易表示

○すぐ上に（ページをまたいでいても同様）同じ文献がある場合

すぐ上に同じ文献がある、つまり 2 回連続で同じ文献を表記する場合は「同上」を使い、次のように表記します。

同上, ○頁.

○間に別の文献を挟んで2回目の文献を表示する場合

2回目に文献を表記する前にほかの文献が間にある、つまり2回連続ではない場合は「前掲書」を使い、次のように表記します。

著者名, 前掲書, ○頁.

○同じ著者の文献が複数出てきて、同上でも前掲書でも書けない場合



ちょっと待てよ？



気がついたかな？ 同上でも前掲書でも書けない場合があるんです

同じ著者の文献が複数出てきて、「同上」でも「前掲書」でも表せない場合は著者名と文献を簡易表示します。書き方は次のようになります。

著者の姓, 文献の名前 (分かる程度に省略してよい), ページ.

ここまで解説した要素を織り交ぜながら、いくつか具体的に表記すると次のようになります。

19世紀前半には貧富の差が大きくなった。こうした状況を受けて社会全体の幸福のための思想と運動から社会主義がおこった。³マルクスは『資本論』において社会主義社会について文責をし、のちの社会に大きな影響を与えたとされている。このような背景ののち、ヨーロッパ諸国では社会福祉政策が実施されることとなった。⁴

マルクスは友人であったエンゲルスとともに訴えかけた。その思想は『共産党宣言』にもまとめられている。⁵彼は資本主義社会が社会主義革命によって終焉がもたらされると主張した。⁶

³ 桃木至朗, 『市民のための世界史』, 大阪大学出版会, 2014, 173頁.⁴

⁴ 同上, 174頁.⁴

⁵ 木村靖二, 『詳説世界史』, 山川出版社, 2016, 261頁.⁴

⁶ 桃木至朗, 前掲書, 173頁.⁴

4

参考文献を 早く書く方法



4：参考文献を早く書く方法

◎書くのに時間がかかる参考文献を早く書く方法を知ろう



著者名、『タイトル』、……時間かかる――



ふふ。苦労してるみたいだね

参考文献を早く書くコツを考えてみよう

参考文献の表記にはとにかく時間がかかります。単純に書くだけでも時間がかかります。その上、レポートのレベルが上がり分量増えて行くにつれて、当然必要になる参考文献の量が多くなっていきます。提出すべき文章が書き上がっても、最後に参考文献を表記するのに文章を書くのと同じくらいの時間を使ってしまうこともしばしば。

この面倒な作業、どうにかして単純化できないでしょうか。というわけでパソコンの様々な機能を駆使して参考文献を早く書く方法を考えてみたいと思います。

4.1：参考文献を早く書く手順



知っていると役立つ、簡単な方法をお伝えします！

参考文献を早く書く手順は以下の通りです

1. テンプレを作成して複製する
2. 早くタイピングできそうなものは手動入力
3. Amazon でコピー
4. フォントをリセット

それでは具体的に説明します。

4.1.1 テンプレを作成して複製する

第1節「参考文献の書き方」では文献の表記方法を「,」（カンマ）で区切って「.」（ピリオド）でしめる、というものを紹介しました。まずはこのテンプレ、具体的には

```
, , , , , . ←
```

これを複製します。

右クリックからコピーを選択してもよいのですが、時短のためにぜひショートカットキーで覚えておきましょう。

◎コピー

Ctrl + C

command + C

◎貼り付け

Ctrl + V

command + V

これを使って次のように参考文献を入力するテンプレを作成します。

```
, , , , , . ←
```

```
, , , , , . ←
```

```
, , , , , . ←
```

```
, , , , , . ←
```

```
, , , , , . ←
```

```
, , , , , . ←
```

4.1.2 早くタイピングできそうなものは手動入力

まずは表記する文献がすぐにタイピングできるものかを判断します。
例えば私この文献、

村上道夫、『基準値のからくり』, 講談社, 2014.

この場合はそれほど難しい漢字があるわけでもなく、本を見ながらすぐ
に書けるのでそのままタイピングしていきましょう。

このように、入力にそこまで困らなさそうなものはタイピングして手動
入れます。

4.1.3 Amazon や楽天でコピペ

では難しい漢字が含まれている場合や外国語などタイピングに時間がか
かりそうなものはどうしたらよいのでしょうか。そんなときは Amazon
や楽天を使ってコピペで書誌情報を入力します。私の個人的なおすすめは
楽天の商品ページです。

商品基本情報

発売日	: 2014年06月20日頃
著者/編集	: 村上 道夫, 永井 孝志
レーベル	: ブルーバックス
出版社	: 講談社
発行形態	: 新書
ページ数	: 288p
ISBNコード	: 9784062578684

ここには参考文献の表記に必要な情報がコンパクトにまとまっているの
で、効率よくコピペすることができます。

あとは先ほど複製した参考文献のテンプレに当てはめていけばよいのです。

レポートにおいてコピペは厳禁ですが、それはあくまで本文の話です。誰が書いても変わらない参考文献や書誌情報についてはコピペしてしまってもまったく問題ありません。

4.1.4 フォントをリセット



あれあれ！？ 問題発生！

村上道夫, 『**基準値のからくり**』, 講談社, 2014.<



何が問題なのはすぐに分かるよね
フォント、サイズがばらばらなのです

基本的にレポートの執筆は日本語であれば MS 明朝や游明朝、英語などアルファベットであれば “Times New Roman” で表記することが基本ですので、当然それに合わせなければならないのです。
そこで行うのがフォントのリセットです。

Word (Windows) では……Ctrl + (スペースキー)

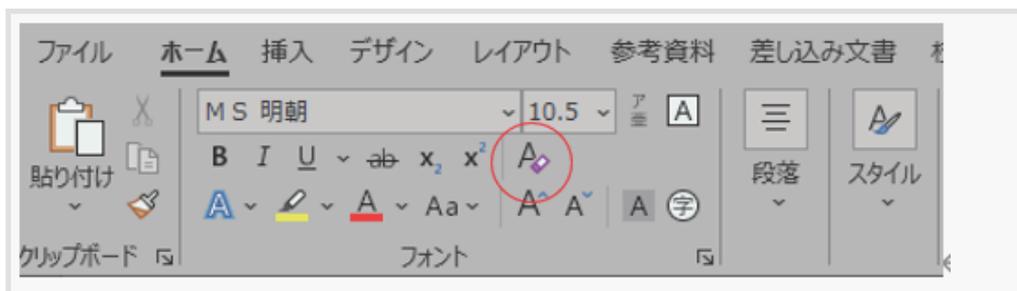
これを使うと選択した範囲のフォントがリセットされます。

このコマンドを使うと次のようになります。

▲ 村上道夫, 『基準値のからくり』, 講談社, 2014. ←

これでOKなように思えるのですが、フォントや文字サイズによってはすべて戻らないことがあります。実際にこの例でも著者名の左に何か変なものがついていますよね。

これをさらにリセットする強力なコマンドがこれです。赤丸で囲ったところがフォントの完全リセットです。ここを選択すると、



これで完全にリセットできます。

村上道夫, 『基準値のからくり』, 講談社, 2014. ←

4.2 外国語の文献の注意



この方法は外国語の文献の表記をするときに便利だよね！



でも一つ注意点が。フォントをリセットしたあとにタイトルをイタリックにすることを忘れないことです

日本語の文献を『二重カギ括弧』や「カギ括弧」で表記するのに対して、外国語文献のタイトルは基本的にイタリックを使います。フォントのリセットをするとイタリックも解除されてしまうので、必ずタイトルをイタリックにするようにしましょう。

イタリックのショートカットキーもついでに覚えておきましょう。

◎イタリック

Ctrl + I

command + I



5

引用の方法



5：引用の表記方法とルール



この人の本に書いてある主張を使いたいな～



そんなときは引用をしましょう

説明や証明で他者の著作物をレポートに取り入れることを引用とよびます。レポートで他人の著作物無断でコピーすることを剽窃といい、学問の世界での犯罪にあたります。しかし、ルールを守って表記すれば引用となり、レポートの説得力も増します。正しい引用方法を知って、質の高いレポートを書けるようになります。

まずは、次の大前提に気をつけましょう。

- ・自分の文章と引用部を明確に区別する
- ・引用は原文のまま行う

引用が引用であることがわかるように表記すれば他人の文章をレポートにとりこんでよいのです。意図しないうちに盗作と見なされないように、次の方法を使って、自分の文章と引用部を区別しましょう。

引用をする場合、基本的に勝手に表現や言葉を変えてはいけません。漢字や言い回しなどはそのままコピーしましょう。

5.1：短い引用

引用したい部分が2行以内など、比較的短い場合は以下の2通りのいずれかの方法で表記します。

- ・著者（発行年）は「引用部（ページ）」としている。
- ・…「引用部（著者,発行年,ページ）」である。

いずれも必要なポイントは以下の通りです。

- ・著者名（名字のみ）
- ・発行年
- ・ページ
- ・引用部は「かぎかっこ」で囲う
- ・引用部内の「かぎかっこ」は『二重かぎかっこ』に直す

実際に書いてみると次のようになります。

石井（2016）は「『先行研究』とは、とりあげようとしているテーマと密接な関係がある過去の研究のこと（107頁）」と述べている。

先行研究を念入りに調べるのは「とりあげようとしているテーマと密接な関係がある（石井,2016,107頁）」からである。

レポートの末尾には参考文献リストと一緒に引用した文献と引用部を示すとよいでしょう。

5.2：長い引用

引用したい部分が長文になる場合は以下のような方法を用います。

- ・改行してインテンドする（二字分下げる）
- ・中略をする

そのほかは「短い引用」と同じように出典を書きます。具体例を見てみましょう。

論文の注意点について石井（2016）は、

人文社会系の分野では、完全に主観を排除した観察や描写は不可能ですが、できるだけ研究対象から距離をおいて、客観的な態度を保つことが大切です。詩的な表現で感情に訴えるような文学的手法は、論文にはふさわしくありません。（140頁）

としている。

論文の注意点について石井（2016）は、「人文社会系の分野では、完全に主観を排除した観察や描写は不可能ですが、（中略）詩的な表現で感情に訴えるような文学的手法は、論文にはふさわしくありません。（140頁）」としている。



第6章

レポートで気になるあれこれ

CONTENTS---

- ・ レポートのフォーマット、表紙
- ・ 書き言葉の表記
- ・ 人物名の表記
- ・ 数字と記号の表記
- ・ 番号の振り方
- ・ レポートを早く書くためのショートカットキー



あの、レポートを書くときの Word の行ってどうするんでしょうか



えーっと、指示がなければとりあえず……



フォントとサイズは？ 数字って半角？ 全角？



とりあえず MS 明朝で……ちょっと待っててよ！



「こども」って漢字どうするんだっけ？ 子ども？ 子供？



あー、そうか書き言葉だと違うからね……



ああー！！ 大事な資料開いてたウェブページ閉じちゃった！



もう！ タブ復活させればいいでしょ！



あとあと、これとこれとこれとこれがわからないです！



ちょっと待ってってば！！ もう、この際細かいあれこれ全部整理する！



要は余り物の章だね！



メタ発言しないでよ！

はい。余り物の章です。でも、冒頭の会話でも結構引っかけることがあるのではないのでしょうか。

レポートの指示にフォーマットが指定されていればその通りに従えばよいのですが、それ以外はどうしたらよいのでしょうか。

数字や年号の表記、漢数字なんかも結構迷うはずです。外国人の長い名前の表記方法、細かいけれど気になったら止まりません。

また、ウェブページで何かを調べていたのに間違っ閉じてしまうことも。一瞬で復活させるショートカットキーがあるのをご存じでしょうか。レポートを書くときに役立つショートカットキーもぜひ覚えたいところです。

そんなわけで、細かいけど気になることをいろいろ集めて整理します。余り物といえども侮るなかれ！

◎この章で扱うこと：レポートで気になるあれこれ

- ・レポートのフォーマット、表紙
- ・書き言葉の表記
- ・人物名の表記
- ・数字と記号の表記
- ・番号の振り方
- ・レポートを早く書くためのショートカットキー



1

レポートの フォーマット 表紙

1: レポートのフォーマット、表紙



レポートって表紙をつけるんだよね？ 何を書くのかな？



タイトルや名前、授業名とか……



文章書けたんだけど、そもそもレポートって何行設定？
印刷って両面にしているんだっけ？
ホッチキスの位置はどこ？



はい。ありがとう。そんなことをまずは全部整理します

- レポートのフォーマット（日本語）
- レポートのフォーマット（英語）
- 表紙、その他注意

1.1：レポートのフォーマット（日本語）



サイズは絶対に A4 って先生が言ってたよ



その通り。A4 は絶対の決まり。そのほかの基本フォーマットはこんな感じかな

◎レポートのフォーマットの基本

- ・サイズ：A4
- ・横 40 文字、縦 30 行
- ・フォント：MS 明朝または游明朝
- ・フォントサイズ：10.5pt または 11pt



サイズは絶対に A4。それ以外は指示がなければこれで統一しよう

1.2：レポートのフォーマット（英語）



関連して英語ではこんな感じです

◎レポートのフォーマット（英語）

- ・サイズ：A4
- ・行間：ダブルスペース（2.0）
- ・フォント：Times New Roman
- ・フォントサイズ：12pt



英語ではダブルスペース設定をして、行間を広くします

1.3：表紙、その他注意



表紙についてと提出前にチェックしたいことです

○表紙

- ・ 授業の時限
- ・ 科目名 課題名
- ・ レポートのタイトル
- ・ 提出日
- ・ 学籍番号
- ・ 所属
- ・ 氏名

○基本的に行間はあけない

レポートでは基本的に行間は空けず、改段落してもすべて詰めて書きます。

○フォントは統一、太字、装飾、サイズを変えない

レポートは文章が読めればそれで問題ないので、強調のために装飾などをする必要はありません

○段落のはじめは字下げをする

日本語の場合は「スペースキー」を使って1字分の字下げ、英語の場合は「Tab キー」を1回押して、2～3字分くらいのスペースをあげます

○印刷は片面

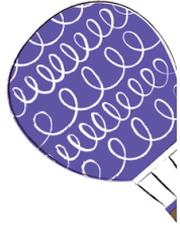
紙がもったいなくても、基本的に片面印刷です。A4で1枚と言われたら、片面だけです

○ホッチキスは左上を止める

紙が2枚以上になったときは紙の左上をホッチキスで止めます

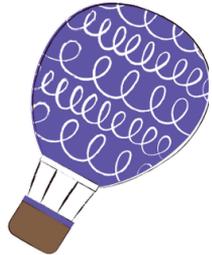


細かいポイントだけど、いやがる人はいやがるから、提出前に確認しておこう



2

書き言葉の表記



2：書き言葉の表記



日本語を話せるから書くのも簡単でしょ？



そう思っている、書き言葉にはルールがある。具体的には、ひらがなで書くべき言葉と差別・平等の観点から考えるべき言い回しがあります

2.1：ひらがなで書くべき表現



メールとかだどついつい漢字で書いちゃうけど、ここで紹介するのは意識的にひらがなにしてみよう

○動詞

- ・ 挙げる → 例をあげる
- ・ 有る → ある
- ・ 頂く → いただく
- ・ 下さい → ください
- ・ 出来る → できる
- ・ 呼ぶ → よぶ
- ・ 分かる → わかる

※「人を呼ぶ」などの“call”の意味では漢字を使います。「この現象は○
○とよばれる」などのときはひらがな

○副詞

- ・敢えて → あえて
- ・予め → あらかじめ
- ・一層 → いっそう
- ・一体 → いったい
- ・概ね → おおむね
- ・却って → かえって
- ・沢山 → たくさん
- ・既に → すでに
- ・折角 → せっかく
- ・大体 → だいたい
- ・互いに → たがいに
- ・段々 → だんだん
- ・丁度 → ちょうど
- ・中々 → なかなか
- ・後ほど → のちほど
- ・殆ど → ほとんど
- ・滅多に → めったに
- ・最も → もっとも



「いったい」「だんだん」「めったに」「もっとも」とかは、
意見が分かれるところかも

○助詞

- ・迄 → まで
- ・等 → など

○接続詞

- ・然し → しかし
- ・即ち → すなわち
- ・従って → したがって
- ・又 → また
- ・尚 → なお
- ・且つ → かつ
- ・或いは → あるいは
- ・若しくは → もしくは

○複合語や接尾語など

- ・辛い → つらい
例) わかり辛い → わかりづらい
- ・易い → やすい
例) わかり易い → わかりやすい
- ・毎 → ごと
- ・振り → ぶり
- ・……する上で → ……するうえで
- ・……と言う事 → ……ということ
- ・……の時 → ……のとき
- ・……の為 → ……のため
- ・……して欲しい → ……してほしい
- ・……の内 → ……のうち

2.2：避けるべき言い回し



主に差別撤廃や平等促進の観点から変化した言葉です

- 差別、平等の観点から避けるべき言い回し
 - ・外人 → 外国人
 - ・彼氏・彼女 → パートナー、恋人
 - ・看護婦 → 看護師
 - ・漢族 → 漢民族
 - ・兄弟 → きょうだい
 - ・強姦 → 性的暴行
 - ・後進国 → 発展途上国
 - ・孤児院 → 児童養護施設
 - ・子供 → 子ども
 - ・色盲 → 色覚異常
 - ・障害 → 障がい
 - ・ジプシー → ロマ
 - ・スチュワーデス → フライトアテンダント、客室乗務員
 - ・男女平等 → ジェンダー平等
 - ・農夫、農婦 → 農民、農家の女性
 - ・百姓 → 農家 農民
 - ・父兄 → 保護者
 - ・保母 → 保育士
 - ・ホモ → ホモセクシュアル
 - ・町医者 → 開業医
 - ・レズ → レズビアン

3

人物名の表記

3：人物名の表記



外国人の表記ってどうしたらいいのかな？ 英語？ カタカナ？



そのままカタカナで書いても問題ないんだけど、正式に表記したい場合は、次の方法で書いてみよう

特に指定がなければ、

トーマス・エジソン

のようにカタカナで人物名を書くだけでも問題ありません。しかし、歴史系や文学系など、正式に表記したい場合は、次のような表記をおすすめします。

T. エジソン (Thomas Edison, 1847-1931)

名前のイニシャルのあとにピリオドを打ち、かっこでくくってからアルファベット名と生没年を記入します。



4
数字と記号の表記

4：数字と記号の表記



レポートの数字って漢数字？ 算用数字？ 記号は？



細かいけど気になる数字の表記を解説します！

4.1：数字のルール



何となくブレがありそうな数字の表記
ここでは安全そうな表記を紹介します！

◎推奨

- 横書き……漢数字メイン。年号や数値は算用数字
- 縦書き……漢数字
- 年号や数値以外を除き、漢数字と算用数字はどちらかに統一する



全角半角にこだわる先生ってたまにいるよね



ということで、基本的には漢数字を使うのが無難かも……

年号や数値は横書きの場合は半角の算用数字を使います。縦書きの場合は漢数字で問題ありません。

例) 1945 年、前年度よりも 450kg 増加しており……

4.2：記号のルール



ここでは次の3つの記号を解説するよ！

- ナカグロ ・
- かっこ 「」『』()
- 単位の記号 %、m、kg など

○ナカグロ ・

この「・」のことをナカグロといいます。基本的には同格の名詞を使う場合や外国人の名前を表記するときに使われます。

○かっこ 「」『』()

レポートで使うかっこは、基本的に「カギ括弧」『二重カギ括弧』（まるかっこ）の3種類です。



3つのかっこはどうやって使い分けたいのかな？



簡単にまとめてみました！

◎3つのかっこの使い分け

「カギ括弧」を使うとき

- ・ 強調、反対の意味
- ・ 引用
- ・ 会話文、発言
- ・ 論文のタイトル

『二重カギ括弧』を使うとき

- ・ 本、書籍のタイトル
- ・ 引用部のなかの「カギ括弧」

(まるかっこ)を使うとき

- ・ 補足
- ・ 外国人の外国語名、生没年の表記
- ・ 引用部のあとの出典

○単位の記号 %、m、kg など

数値が必要な場合は記号をそのまま使います。

例)

「50%の人が賛成しており」

「50m 走の平均タイムは」

「前年度より 450kg 増加し」

文系のレポートを中心に、数値がメインではない場合はカタカナで表記してもよいかもしれません。

5

番号の振り方

5：番号の振り方



これって使うのかな……？



正直微妙だけど一応ルールがあるから……
基本的にはこの2つを押さえておけば OK

5.1：公用文スタイルの番号

◎公用文スタイルの番号の順番

(第 1)→1→(1)→ア→(ア)→a→(a)

項目が細くなるごとに、1、2、3、(1)、(2)、(3) と増やしていきます。第1は省略されることも多いです。政府が発行している報告書などを見ると、このように書かれています。

5.2：論文スタイルの番号

◎論文スタイルの番号の順番

1→1.1→1.1.1→1.1.2→1.2→1.3→2→3→3.1

1 から順番に番号を振っていき、それについて「.」を使って増やしていくスタイルです。



レポートではめったに使わないけど、しいていえば論文スタイルの番号の振り方は覚えておくといいかな

6

レポートを
早く書くための
ショートカットキー

6：レポートを早く書くためのショートカットキー

◎ショートカットキーを使いこなしてレポートのスピードを上げよう



右クリックして、コピー、貼り付け……時間かかるなあ



レポートはパソコンのショートカットキーをフル活用しましょう

知っている人からは当たり前なのですが、知らない人も多いショートカットキー。これを使うとレポートのスピードが格段に上がります。

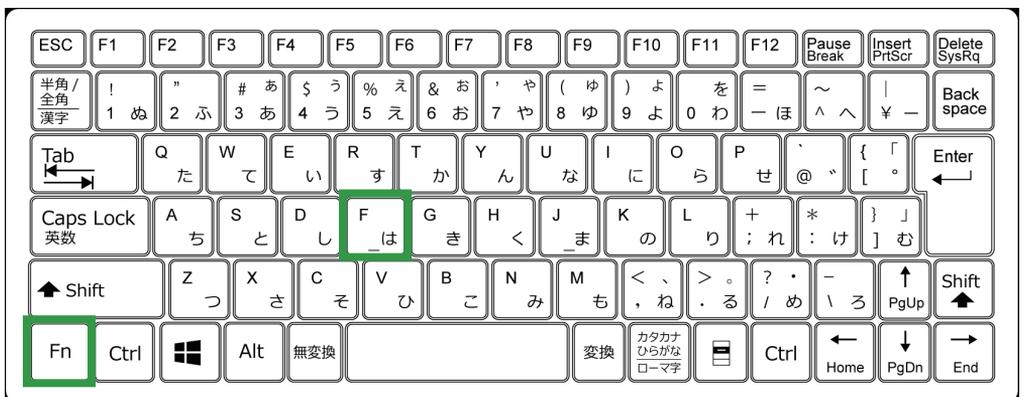
ここでは Google Chrome を使ったレポートの情報収集、Word を使ったレポート執筆に焦点を当てて、優先して覚えたいショートカットキーを厳選しました。

いきなり覚えるのは大変かもしれませんが、機会があるときに少しずつ覚えていきましょう。

◎ページ内の単語検索

- Ctrl + F
- command + F

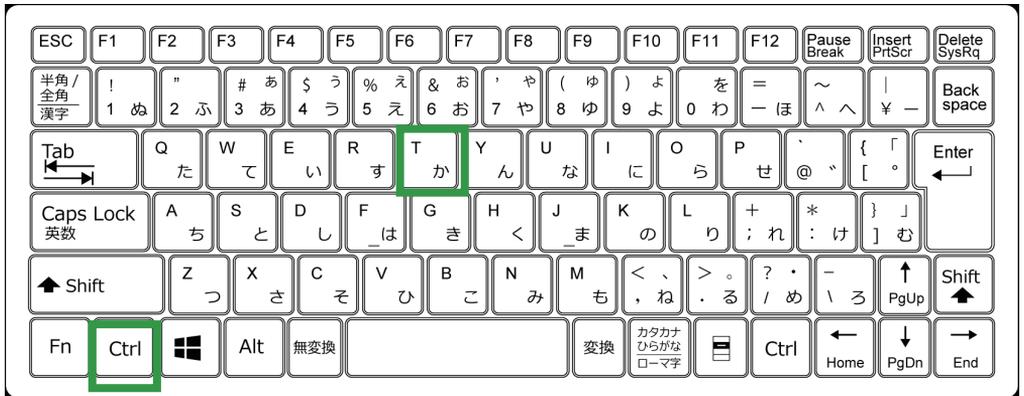
これめっちゃ使えます！「Find（見つける）」のFと覚えましょう



◎新しいタブを開く

- Ctrl + T
- command + T

「Tab」のTと覚えましょう。

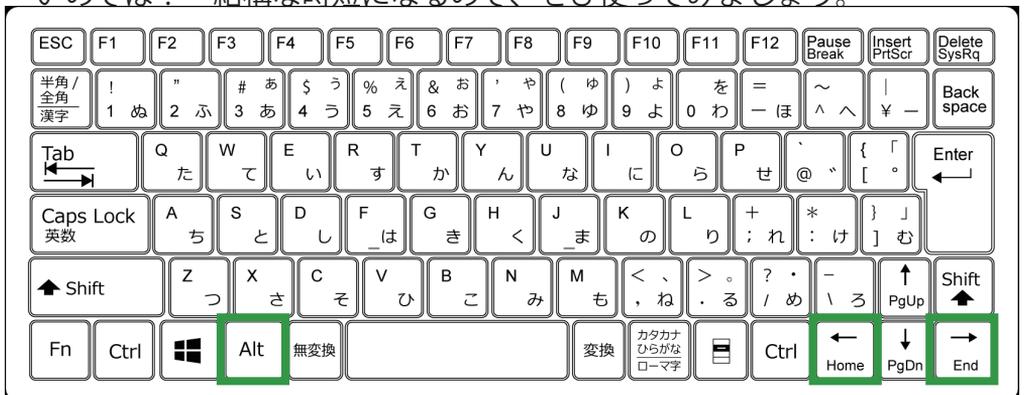


新しいタブを開く

◎一つ前のページへ戻る

- Alt + 左矢印 (←)
- command + 左矢印 (←)

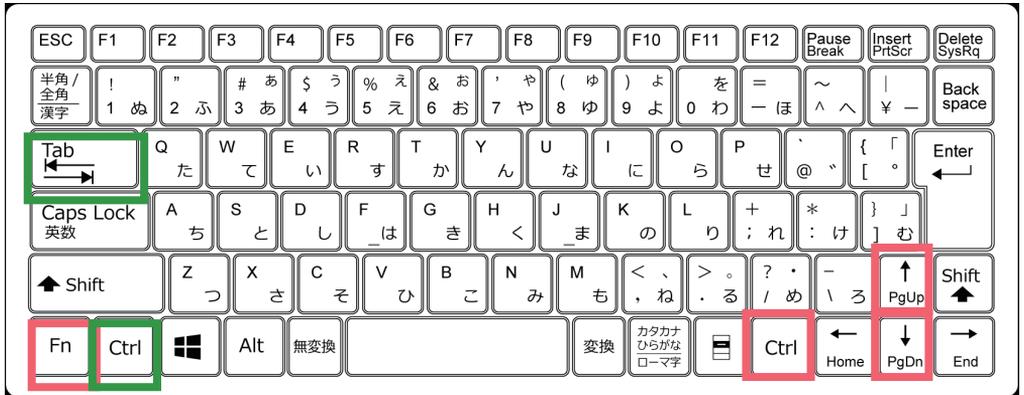
一つ前のページに戻りたいときに画面左上の矢印 (←) を使う人も多いのでは？ 結構な時短になるので、ぜひ使ってみましょう。



◎右のタブに移動

- Ctrl + Tab
- command + option + 右矢印

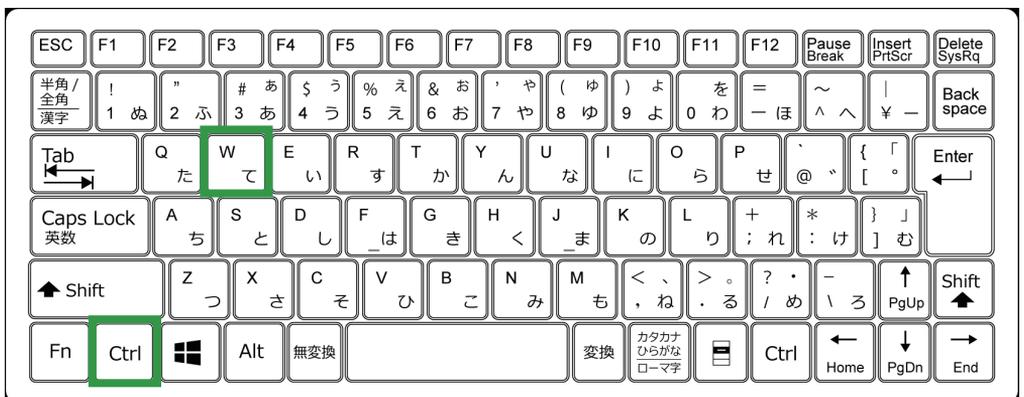
次は隣のタブを見たい……そんなときに使えるショートカットキーです。「Shift」を加えると左に動きます。



◎現在のタブを閉じる

- Ctrl + W
- command + W

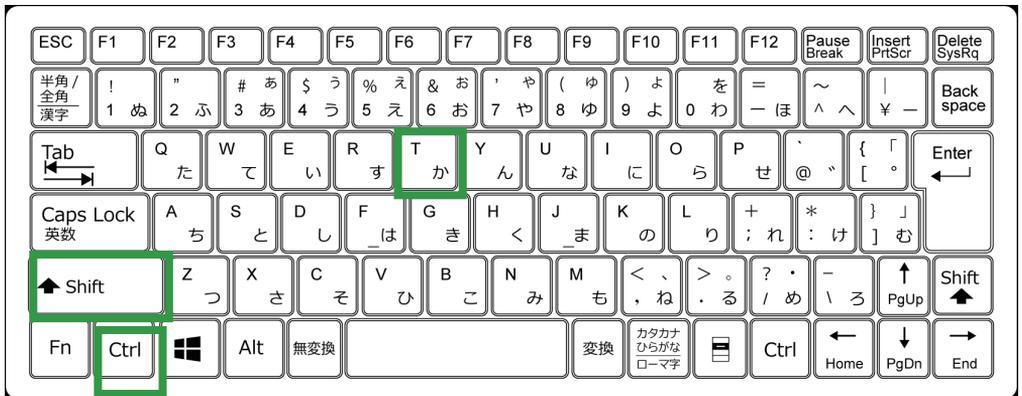
使ったタブを消したいときに使います。画面上部の「X」をクリックしなくても大丈夫！



◎閉じたタブを復活

- Ctrl + Shift + T
- command + Shift + T

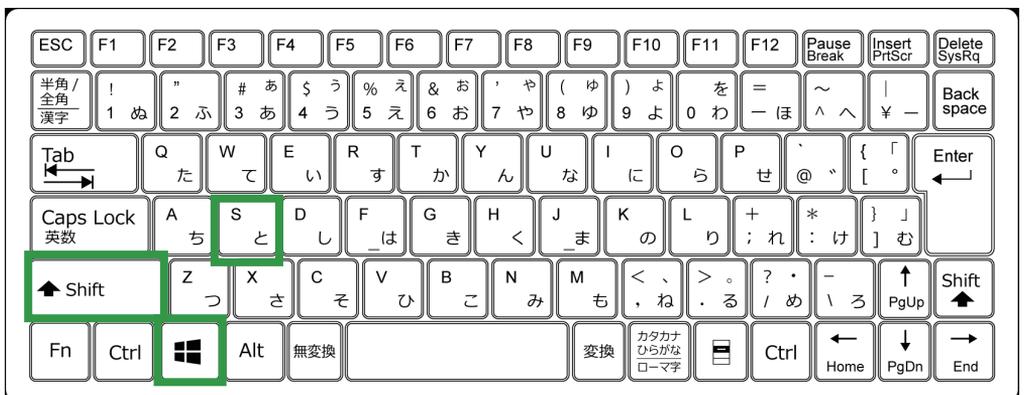
間違えて閉じちゃったけどもう一度さっきのタブを開きたい、そんなときに大活躍です！



◎範囲を選択してスクリーンショット

- Shift + Window + S
- command + Shift + 4

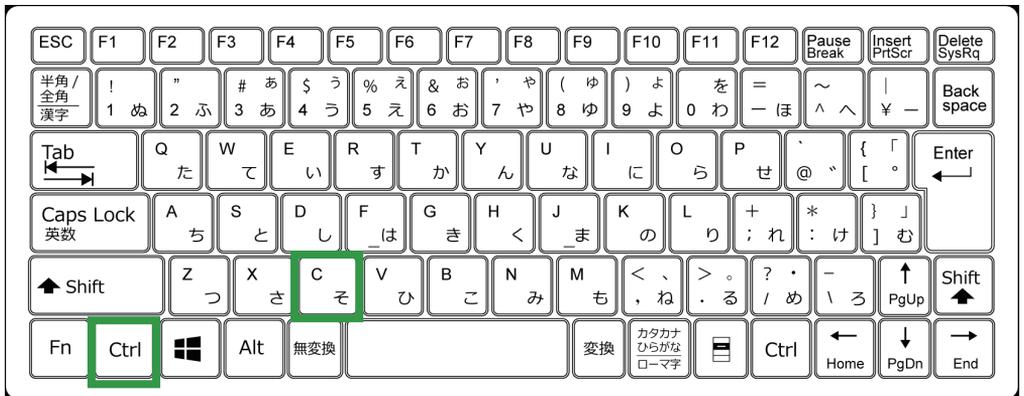
必要な部分だけスクショできるので、レポートでは大活躍です。



◎コピー

- Ctrl + C
- command + C

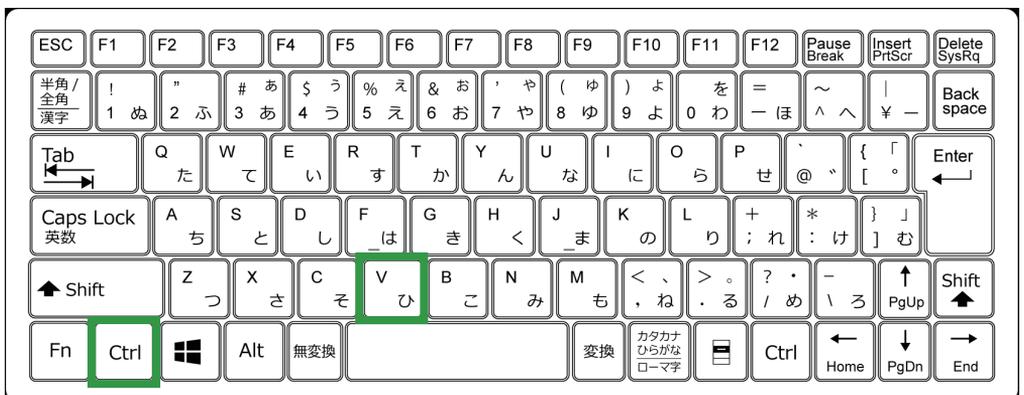
基本中の基本です。ここから紹介する「C」「V」「Z」「X」は絶対に覚えてください。



◎貼り付け

- Ctrl + V
- command + V

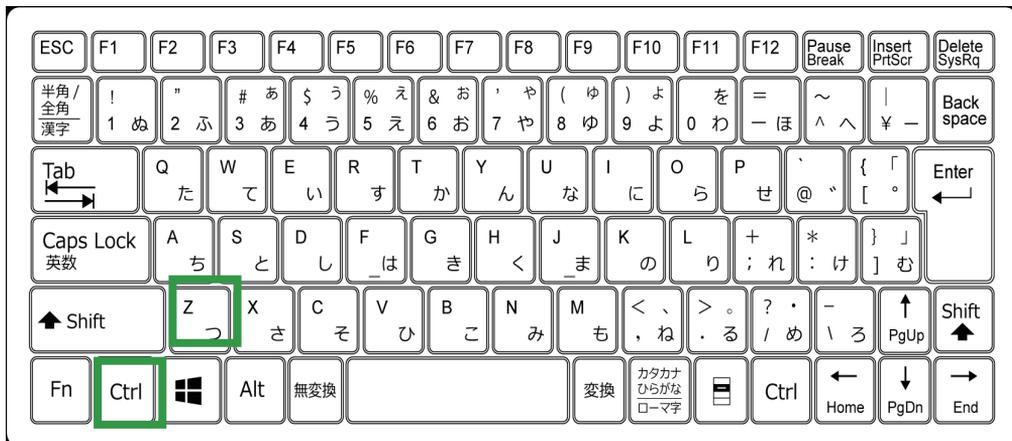
コピーしたものを貼り付けます。先ほど紹介したスクリーンショットで切り取ったものもこのコマンドで画像を表示できます。



◎一つ戻る

- Ctrl + Z
- command + Z

文章を書いて間違えたときに一つ戻ることができます。



◎切り取り (削除+コピー)

- Ctrl + X
- command + X

削除とコピーを同時にできるコマンドが切り取りです。



◎上書き保存

- Ctrl + S
- command + S

上書き保存を一瞬でできます。



◎すべて選択

- Ctrl + A
- command + A

文字通り画面内のすべての文章の文字を選択します。



◎すべて全角カタカナに変換

- ・ F7

F7 キーは選択部分をすべて全角カタカナに変換できます。外国人の名前、生物の名前などの入力に便利です。



◎すべて半角アルファベットに変換

- ・ F10

F10 キーは選択部分を半角アルファベットに変換できます。一部分だけ英語にしたいとき、ID 入力をするときにも使えます。



◎名前の変更

- ・ F2

ファイルの名前を変更するときには使えるショートカットキーです。似たような名前（〇〇第1回レポート）などを入力するときには便利です。



◎使っているアプリを切り替える

- ・ Alt + Tab
- ・ command + Tab

Tab キーを押した回数分だけ別のアプリに切り替えることができます。



◎あとながき

私は教育者でもありませんし、将来的に教員など学校教育に関わるつもりもありません。それでも、この本や元になっているブログを書くきっかけは「勉強が好き」というただそれだけのことでした。好きだからレポートの書き方や勉強法を研究しようと思い、好きだからもっといろいろな人に知ってほしい、と思えたのです。

どんなことでも「好き」なことはモチベーションにつながります。ところが、大学の勉強ってどうでしょうか。個人的に「好き」になるまでのハードルが高いのが大学教育だと思っています。大学の先生も専門的なことばかり話すからついていけない、レポートもいきなり高度なことを要求してくるからついていけない、そんなことを考えたことがある人も多いかと思います。

この本はレポートの書き方を楽しく学んでほしい、という思いから書きました。最初は成績のため、単位のためにこの本をご覧になった方もいるかと思います。それでも、読み進める中で意外とレポートってとっかかりは単純で、それでいて奥が深いことにお気づきいただけたでしょうか。

大学の学問は答えのないことを探求する場、ということ。「アカデミックライティング」でも触れました。大学生、特に学部生にとってのレポートはそんな答えのない学問の基礎になります。きっとその基礎を終えた先にはもっと楽しい学問の世界があると信じています。この本がきっかけになるかはわかりませんが、レポートをきっかけに勉強の楽しさ、学問の奥深さに気付いていただければ、これ以上嬉しいことはありません。

きりえ

◎購入者限定特典

『レポートの書き方が楽しく学べる本』と合わせてもっとわかりやすい、テキスト版（旧有料note版）を今だけ著者ブログ「きりえきれい」で限定公開！

下記URLからアクセス、パスワードを入力して閲覧してください。購入者限定特典のため、無断転載、他人への拡散などはお控えください。

URL

<https://hannдайmaruwakari.work/textver>

PASS

kiriereport

著者・イラストレーター紹介

きりえ



月間9万PVのブロガー。受験期の経験や大学での勉強を踏まえ、自身のブログ「きりえきれい」で勉強法やレポートの書き方、大学生活のヒントを発信中。タツノオトシゴが好き。旅行、ホラーが趣味。

Twitter : @Wenkist

もかたる子



お絵かき大好きもかたる子と申します。小さいキャラを描くのが大好きなので、ちびキャラをご要望でしたら、いつでもご相談ください！

Twitter : @moyashiyaki

レポートの書き方が楽しく学べる本

2021年7月11日発行

著 者：きりえ

イラスト：もかたる子

本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・公衆送信することを禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

© 2021 kirie